

令和5年度 公共交通に関する町民アンケート調査

報告書



東吾妻町地域公共交通活性化協議会

I.	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査項目	1
3.	調査の設計	2
4.	回収結果	2
II.	調査結果の分析	3
1.	あなたのことを教えてください	3
1-1.	性別	3
1-2.	年齢	4
1-3.	職業	5
1-4.	家族構成	6
1-5.	居住地区	7
1-6.	普通自動車運転免許の有無	9
1-7.	運転免許の返納意向	10
1-8.	自動車の運転状況	11
1-9.	自動車が必要になったとき送迎してくれる人	12
2.	日常生活について教えてください	13
2-1.	10月25日(水)	13
2-2.	10月29日(日)	17
3.	公共交通の利用状況について教えてください	21
3-1.	あなたは、路線バスをどの程度利用されていますか	21
3-2.	新型コロナ感染症拡大前と以降を比較して、外出する頻度や自家用車を利用する(または送迎してもらう)頻度は変わりましたか	22
3-3.	あなたは路線バスについて、以下の項目をご存じですか	24
3-4.	あなたは、以下の移送サービスを知っていますか。また、利用したことはありますか	27
4.	高齢者の方も利用しやすい公共交通の実現に向けてお尋ねします	33
4-1.	バスをより使いやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか	33
4-2.	どのようなところに、バスを使って行きたいと思いますか	38
5.	自由意見	42
III.	高齢者外出率の算出結果	51
IV.	アンケート結果からみえる公共交通に対するニーズ	52
V.	調査票	54

I. 調査の概要

1. 調査の目的

東吾妻町では、令和3年度に東吾妻町地域公共交通計画を策定し、高齢者に利用しやすい公共交通の実現に向けた施策に取り組んでいるところである。その目標達成度を評価する数値目標として「運転免許非保有者の高齢者外出率」を設定し、平成27年度時点では55.9%という結果であった。

同計画では、計画目標年度である令和8年度には、5か年に渡る施策・事業の評価・検証を実施し、計画の見直しを行うほか、計画中期である令和5年度において中間評価を行うこととしている。

そこで本業務は、公共交通に関する町民アンケート調査を実施し、令和5年度における「運転免許非保有者の高齢者外出率」を算出することを目的とする。

2. 調査項目

調査は以下の項目について実施した。

1. 調査対象者の属性（性別、年齢、職業、家族構成、行政区）
2. 普通自動車免許の有無
3. 普通自動車免許の返納の意思
4. 自動車の運転状況
5. 自動車による送迎の有無
6. 調査日における外出の有無
7. 調査日における外出の目的
8. 調査日における外出の移動手段
9. 路線バスの利用頻度
10. 新型コロナウイルス感染症拡大以前・以後の外出頻度の変化
11. 自動車利用の頻度の変化
12. 路線バスの最寄りバス停の場所の認知度
13. 路線バスの利用方法の認知度
14. 路線バスの運行経路・時刻表の調べ方の認知度
15. 路線バスの運賃の認知度
16. 福祉有償運送の認知度
17. 福祉有償運送の利用の有無
18. 福祉有償運送の利用意向
19. デマンドバスの認知度

20. デマンドバスの利用の有無
21. デマンドバスの利用意向
22. バスの改善すべき点
23. バスで行きたい施設

3. 調査の設計

- ① 調査地域：東吾妻町全域
- ② 調査対象：東吾妻町在住の満65歳以上の住民
- ③ 調査対象数：1,000人
- ④ 抽出法：住民基本台帳に基づく無作為抽出
- ⑤ 調査方法：郵送配付・郵送回収法
- ⑥ 調査期間：令和5年10月27日（金）～11月13日（月）
- ⑦ 調査日：令和5年10月25日（水）、10月29日（日）

注：「調査日」は、外出の状況を尋ねる対象日を示す。

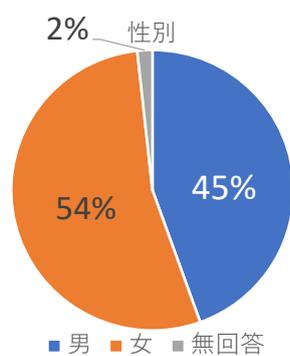
4. 回収結果

有効回収数 638
有効回収率 63.8%

II. 調査結果の分析

1. あなたのことを教えてください

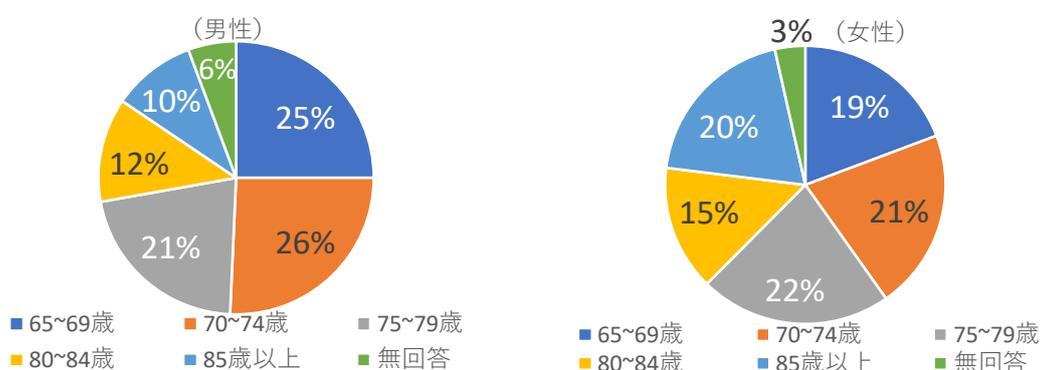
1-1. 性別



	n	構成比
男	284	45
女	343	54
無回答	11	2
計	638	100

回答者の性別は、女性がやや多い54%であった。

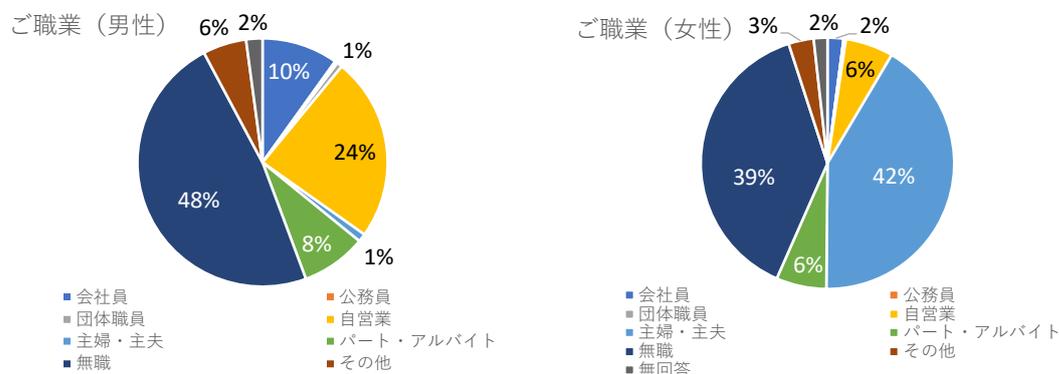
1-2. 年齢



	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
65~69歳	71	66	2	139	25	19	18	22
70~74歳	73	72	0	145	26	21	0	23
75~79歳	61	76	1	138	21	22	9	22
80~84歳	35	50	3	88	12	15	27	14
85歳以上	28	67	3	98	10	20	27	15
無回答	16	12	2	30	6	3	18	5
計	284	343	11	638	100	100	100	100

回答者の年齢は 65~69 歳、70~74 歳、75~79 歳がそれぞれ 22%~23%を占め、80~84 歳が 14%、85 歳以上が 15%であった。男女別では女性の 85 歳以上の回答者が 20%を占めるなど、女性の方がより高齢の割合が多くなっている。

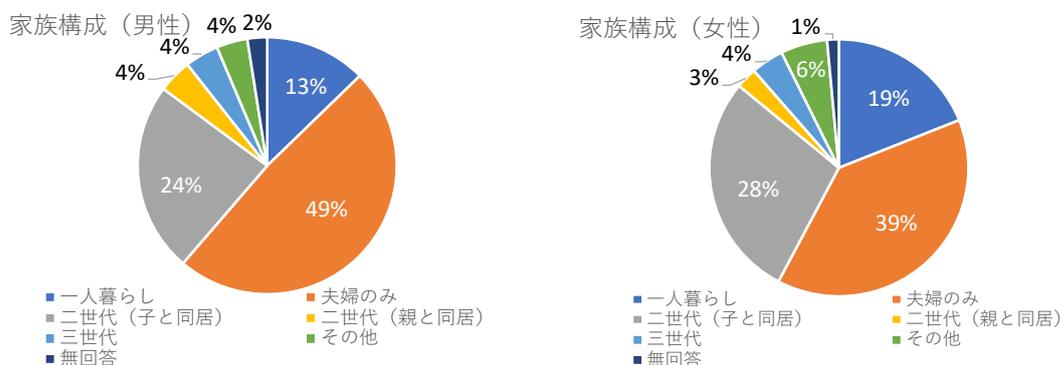
1-3. 職業



	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
会社員	28	7	1	36	10	2	9	6
公務員	1	0	0	1	0	0	0	0
団体職員	2	1	0	3	1	0	0	0
自営業	68	21	0	89	24	6	0	14
主婦・主夫	3	143	2	148	1	42	18	23
パート・アルバイト	24	22	0	46	8	6	0	7
無職	136	132	6	274	48	38	55	43
その他	16	11	1	28	6	3	9	4
無回答	6	6	1	13	2	2	9	2
計	284	343	11	638	100	100	100	100

職業については男女で大きく傾向が異なる。男性では会社員(10%)、自営業 (24%)、パート・アルバイト (8%) など就業している人が 43%と半数近くを占めている。女性では主婦 (42%)、無職 (38%) が多く、会社員 (2%)、自営業 (6%)、パート・アルバイト (6%) などの就業している人は 15%と男性に比べて少ない。

1-4. 家族構成



	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
一人暮らし	36	65	4	105	13	19	36	16
夫婦のみ	138	133	1	272	49	39	9	43
二世世代 (子と同居)	68	97	3	168	24	28	27	26
二世世代 (親と同居)	12	9	0	21	4	3	0	3
三世代	12	14	1	27	4	4	9	4
その他	11	20	0	31	4	6	0	5
無回答	7	5	2	14	2	1	18	2
計	284	343	11	638	100	100	100	100

家族構成は、一人暮らしが16%、夫婦のみが43%と高齢者のみと考えられる世帯が多く、59%を占める。多世代で暮らす高齢者は34%とおおむね3分の1程度である。

男女で比べると、女性の一人暮らしが19%と男性の13%と比べて多い。女性の方が平均寿命が長いと、一人暮らしになることが多い傾向が見て取れる。

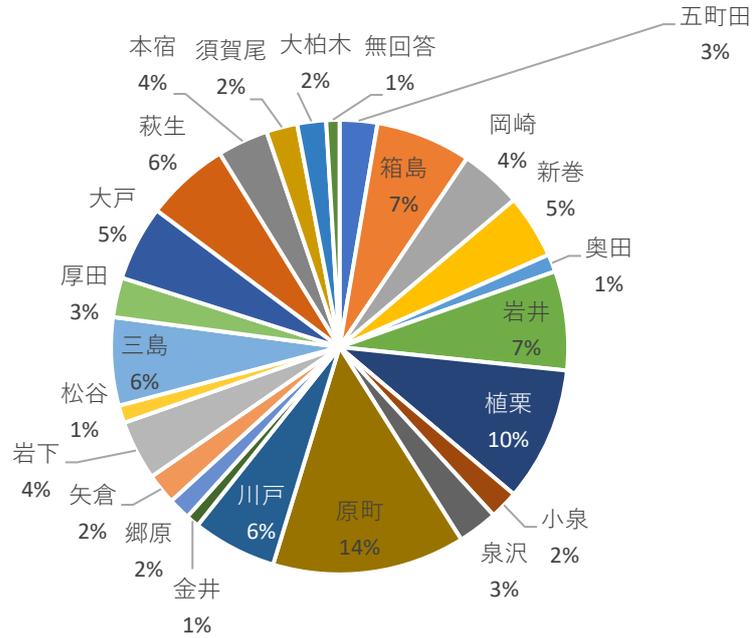
1-5. 居住地区

大字・町名	n	構成比	抽出率	人口 総数	65歳 以上	65歳以 上割合
五町田	17	3	15%	245	113	46%
箱島	43	7	27%	475	159	33%
岡崎	28	4	14%	493	204	41%
新巻	29	5	22%	342	130	38%
奥田	8	1	12%	157	65	41%
岩井	45	7	15%	922	306	33%
植栗	61	10	21%	882	287	33%
小泉	13	2	13%	246	104	42%
泉沢	18	3	17%	213	104	49%
原町	87	14	8%	2,964	1,098	37%
川戸	38	6	10%	984	369	38%
金井	6	1	10%	155	63	41%
郷原	10	2	8%	264	122	46%
矢倉	14	2	11%	302	123	41%
岩下	27	4	11%	501	239	48%
松谷	8	1	7%	286	123	43%
三島	40	6	12%	673	331	49%
厚田	18	3	12%	298	146	49%
大戸	34	5	11%	636	317	50%
萩生	38	6	14%	570	278	49%
本宿	23	4	11%	448	218	49%
須賀尾	14	2	8%	303	165	54%
大柏木	13	2	7%	369	189	51%
無回答	6	1	-			
計	638	100	12%	12,728	5,253	41%

注1：人口総数、65歳以上人口は令和2年国勢調査による。

注2：抽出率は回答数（n）の65歳以上人口に対する割合を示す。

お住まいの地区

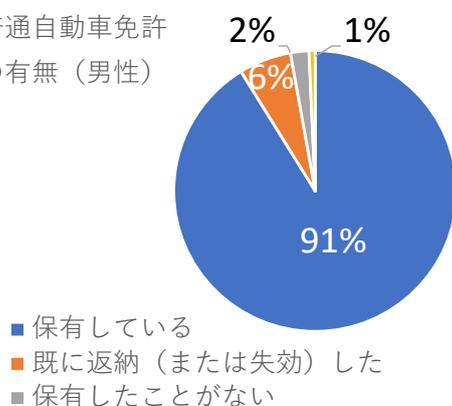


令和2年国勢調査による東吾妻町の人口総数は12,728人、65歳以上人口は5,253人、65歳以上人口割合は41%である。本調査の有効回収数638は65歳以上人口の約12%を占める。

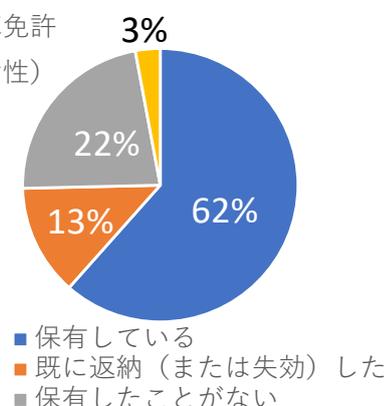
地区別に抽出率をみると、箱島、新巻、植栗の各地区が20%を超えるなど、東側の地域において比較的多くの回答を得られている。

1-6. 普通自動車運転免許の有無

普通自動車免許
の有無（男性）



普通自動車免許
の有無（女性）



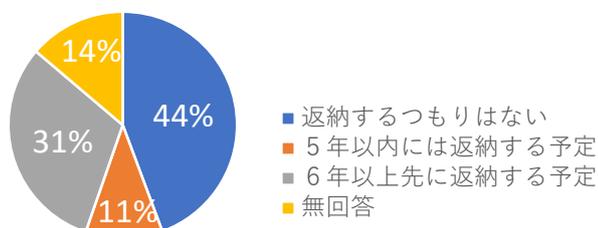
	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
保有している	259	211	8	478	91	62	73	75
既に返納（または失効）した	17	45	2	64	6	13	18	10
保有したことがない	6	77	0	83	2	22	0	13
無回答	2	10	1	13	1	3	9	2
計	284	343	11	638	100	100	100	100

運転免許の保有率は男性で 91%に達し、既に返納（または失効）した人は 6%に過ぎない。女性の保有率は 62%、返納率は 13%と既に運転をやめた人は男性に比べると多い。

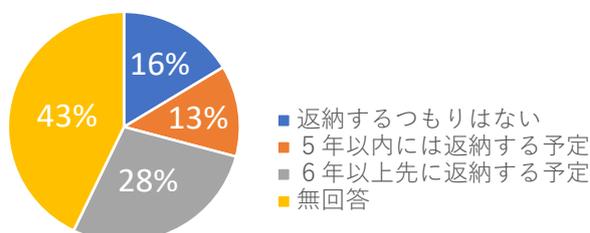
男女ともに運転免許を保有している人の方が多いが、女性の 3 分の 1 以上が運転免許を保有しておらず、単独で移動する場合には、自動車以外の移動手段が必要な状況となっている。

1-7. 運転免許の返納意向

将来的に自動車免許を返納したいと思いますか（男性）



将来的に自動車免許を返納したいと思いますか（女性）



	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
返納するつもりはない	126	56	4	186	44	16	36	29
5年以内には返納する予定	31	44	2	77	11	13	18	12
6年以上先に返納する予定	88	96	2	186	31	28	18	29
無回答	39	147	3	189	14	43	27	30
計	284	343	11	638	100	100	100	100

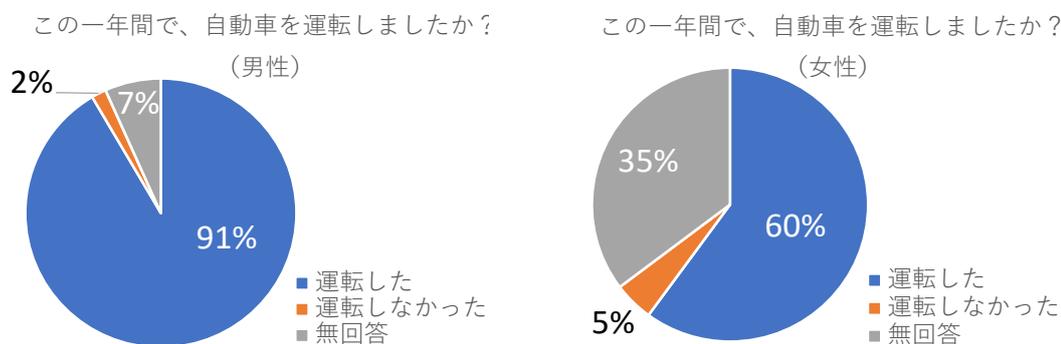
（免許の有無と返納意向を組み合わせた集計）

	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
返納するつもりはない	126	56	4	186	44	16	36	29
返納する予定	119	140	4	263	42	41	36	41
既に返納（または失効）した	17	45	2	64	6	13	18	10
保有したことがない	6	77	0	83	2	22	0	13
無回答	16	25	1	42	6	7	9	7
計	284	343	11	638	100	100	100	100

運転免許を返納するつもりはない人は、男性で44%であるのに対し、女性は16%と半分以下の割合である。返納する予定のある人は、男性で42%、女性で41%とほぼ同程度である。

既に免許を保有していない人を含め、将来的に男性の50%、女性の76%は運転免許を保有しない意思を持っており、今後よりいっそう高齢者が単独で移動する場合の自動車以外の移動手段が求められる。

1-8. 自動車の運転状況

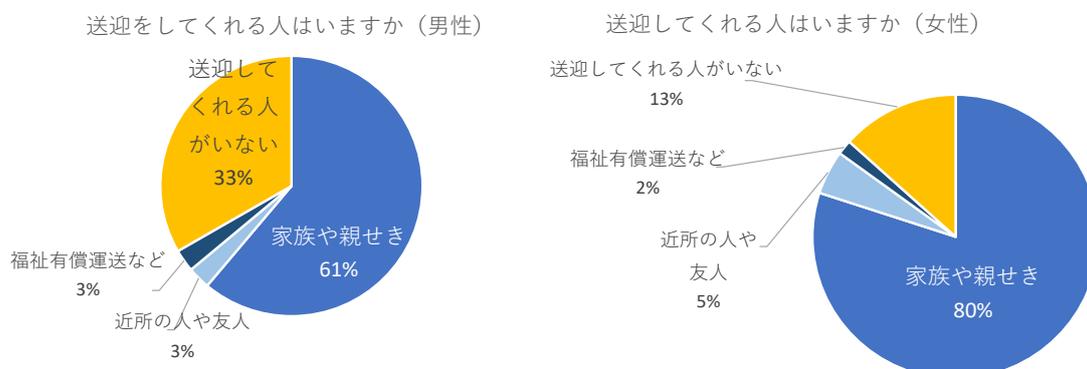


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
運転した	259	206	8	473	91	60	73	74
運転しなかった	5	16	0	21	2	5	0	3
無回答	20	121	3	144	7	35	27	23
計	284	343	11	638	100	100	100	100

この一年間で自動車を運転した人は男性で91%、女性で60%と、多くの人が自ら運転をしている。特に男性は91%とほとんどが運転している。

今後の免許返納予定と合わせて考えると、現在は自ら運転しているものの、将来は免許を返納して運転をやめるつもりの方が大半であることがわかる。

1-9. 自動車が必要になったとき送迎してくれる人



	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
家族や親せき	22	48	0	70	61	80	0	73
近所の人や友人	1	3	0	4	3	5	0	4
福祉有償運送など	1	1	0	2	3	2	0	2
送迎してくれる人がいない	12	8	0	20	33	13	0	21
無回答	248	283	11	542	-	-	-	-
計	284	343	11	638	100	100	0	100

注：構成比は、男性の無回答248件、女性の無回答283件を除く

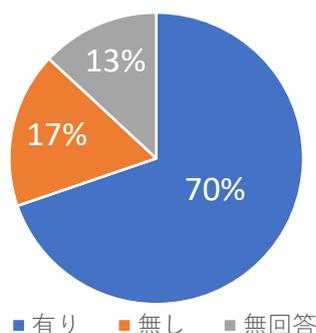
運転免許を返納した場合に、自動車で送迎してもらえる人について尋ねたところ、男性の61%、女性の80%が「家族や親せき」を挙げている。身近な親族を頼りにしている方がほとんどで、「近所の人や友人」、「福祉有償運送など」を考えている人は非常に少ない。また、「送迎してくれる人がいない」が男性で33%にのぼり、免許を返納したくても代わりに送迎してくれる人がいないため、返納が難しいことがうかがえる。無回答が多いことも、送迎してくれる人に当てがえないことが影響しているとみられる。

2. 日常生活について教えてください

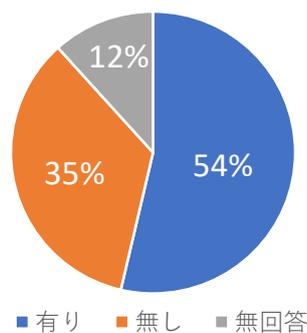
2-1. 10月25日(水)

(1) 外出の有無

外出の有無（10月25日（水））（男性）



外出の有無（10月25日（水））（女性）

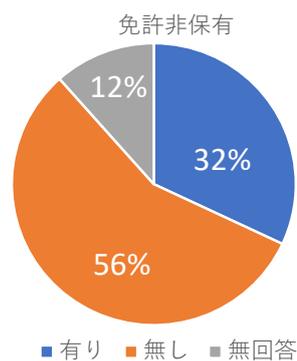
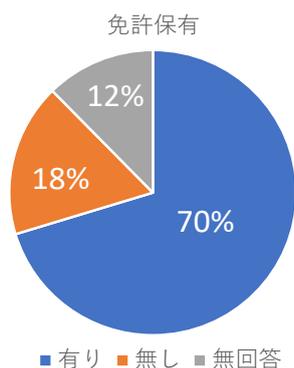


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
有り	198	184	5	387	70	54	45	61
無し	49	119	1	169	17	35	9	26
無回答	37	40	5	82	13	12	45	13
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

平日の調査日（10月25日（水））における外出率は男性で70%、女性で54%であった。

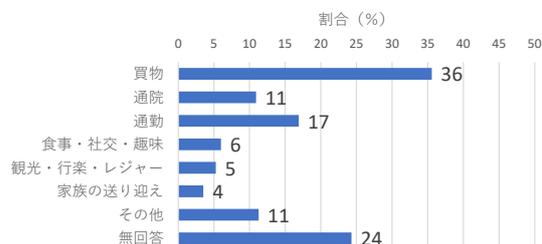
【免許保有別】



免許の保有、非保有別でみると、免許保有者の外出率は70%であるのに対し、免許非保有者の外出率は32%と大きな差異がみられる。

(2) 主な外出目的

主な外出目的（10月25日（水））（男性）



主な外出目的（10月25日（水））（女性）

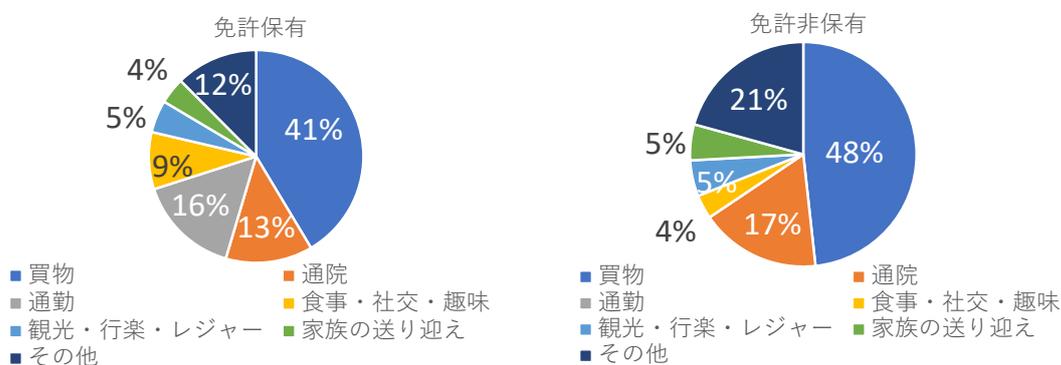


	n				回答割合			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
買物	101	105	3	209	36	31	27	33
通院	31	36	0	67	11	10	0	11
通勤	48	17	1	66	17	5	9	10
食事・社交・趣味	17	21	1	39	6	6	9	6
観光・行楽・レジャー	15	9	0	24	5	3	0	4
家族の送り迎え	10	9	1	20	4	3	9	3
その他	33	32	0	65	12	9	0	10
無回答	69	154	6	229	24	45	55	36
計	284	343	11	638	-	-	-	-

【全体結果】

平日の調査日（10月25日（水））における外出目的をみると、買物が33%と最も多く、ついで通院11%、通勤10%、その他10%であった。

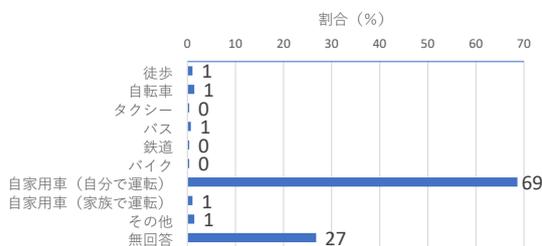
【免許保有別】



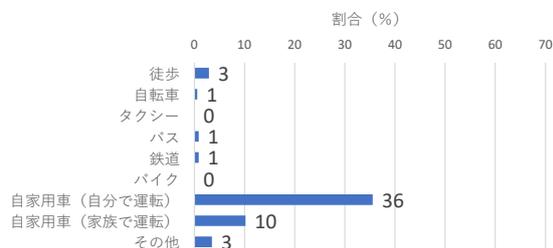
免許の有無で外出目的をみると、免許非保有の場合、買物、通院で66%を占めるほか、「その他」としてデイサービス、介護施設などの外出が21%と多く、日常生活に欠かせない目的で外出している。免許保有者が多様な目的で外出しているのに比べ対照的である。

(3) 主な移動手段

主な移動手段（10月25日（水））（男性）



主な移動手段（10月25日（水））（女性）

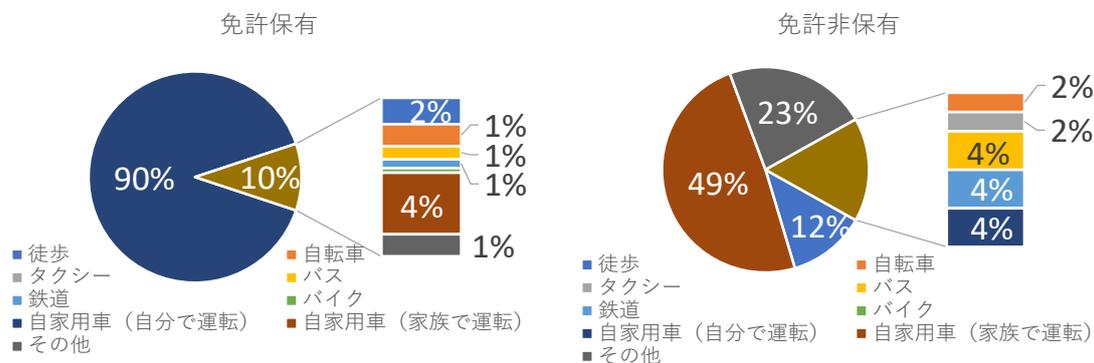


	n				回答割合			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
徒歩	3	10	0	13	1	3	2	2
自転車	4	2	0	6	1	1	1	1
タクシー	1	0	0	1	0	0	0	0
バス	2	3	0	5	1	1	1	1
鉄道	1	3	0	4	0	1	1	1
バイク	1	0	0	1	0	0	0	0
自家用車（自分で運転）	195	122	4	321	69	36	50	50
自家用車（家族で運転）	3	35	0	38	1	10	6	6
その他	4	12	0	16	1	3	3	3
無回答	76	158	7	241	27	46	38	38
計	284	343	11	638	-	-	-	-

【全体結果】

平日の調査日（10月25日（水））における移動手段をみると、自家用車がほとんどであり、バス、鉄道は1%、タクシーは0%と全くと言ってよいほど、公共交通機関が使われていない。

【免許保有別】

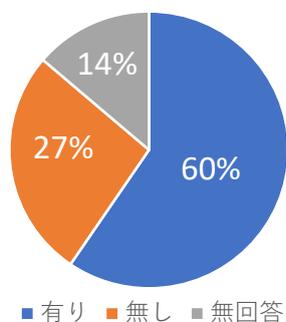


免許の有無で移動手段をみると、免許保有の場合、90%が自分で運転して移動している。免許非保有の場合は、49%が家族に運転してもらって移動している。そのほか、「その他」に含まれるデイサービス、施設の送迎を利用している方が 23%である。免許非保有でもバス、鉄道は4%、タクシーは2%に過ぎず、自家用車の代替手段として使われているとはいえない。

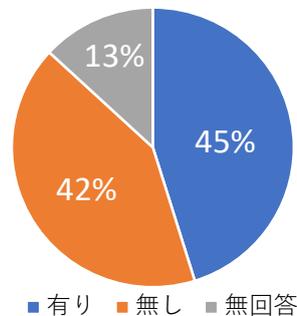
2-2. 10月29日(日)

(1) 外出の有無

外出の有無（10月29日（日））（男性）



外出の有無（10月29日（日））（女性）

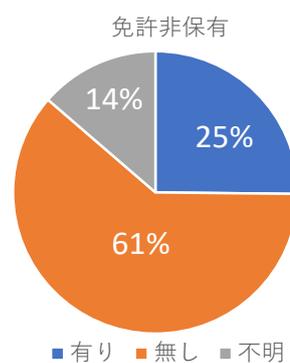
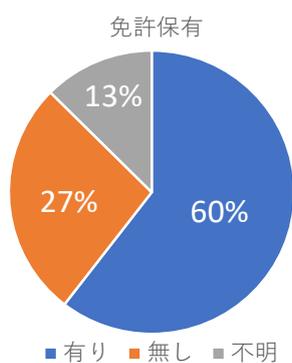


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
有り	169	155	4	328	60	45	36	51
無し	76	143	3	222	27	42	27	35
無回答	39	45	4	88	14	13	36	14
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

休日の調査日（10月29日（日））における外出率は男性で60%、女性で45%であった。

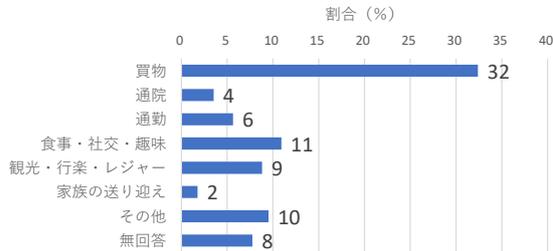
【免許保有別】



免許の保有、非保有別で見ると、免許保有者の外出率は60%であるのに対し、免許非保有者の外出率は25%と大きな差異がみられ、平日より外出率は低下している。

(2) 主な外出目的

主な外出目的（10月29日（日））（男性）



主な外出目的（10月29日（日））（女性）

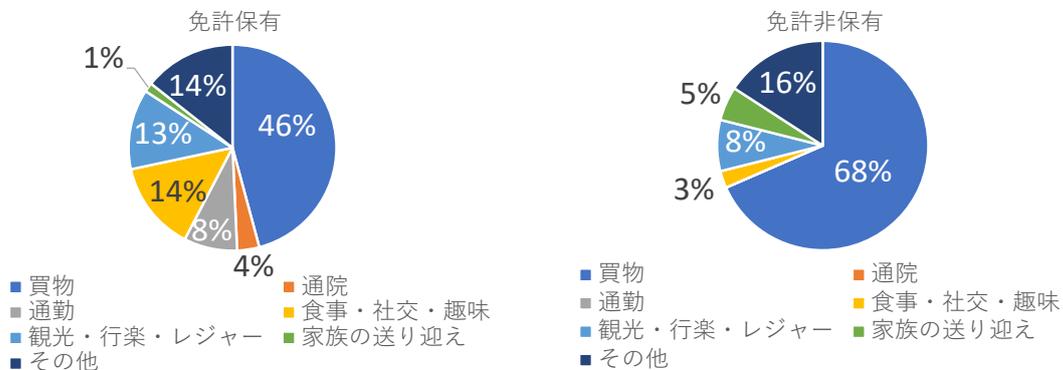


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
買物	92	92	3	187	32	27	27	29
通院	10	2	0	12	4	1	0	2
通勤	16	13	0	29	6	4	0	5
食事・社交・趣味	31	19	1	51	11	6	9	8
観光・行楽・レジャー	25	21	1	47	9	6	9	7
家族の送り迎え	5	2	0	7	2	1	0	1
その他	27	28	1	56	10	8	9	9
無回答	22	7	1	30	8	2	9	5
計	284	343	11	638	-	-	-	-

【全体結果】

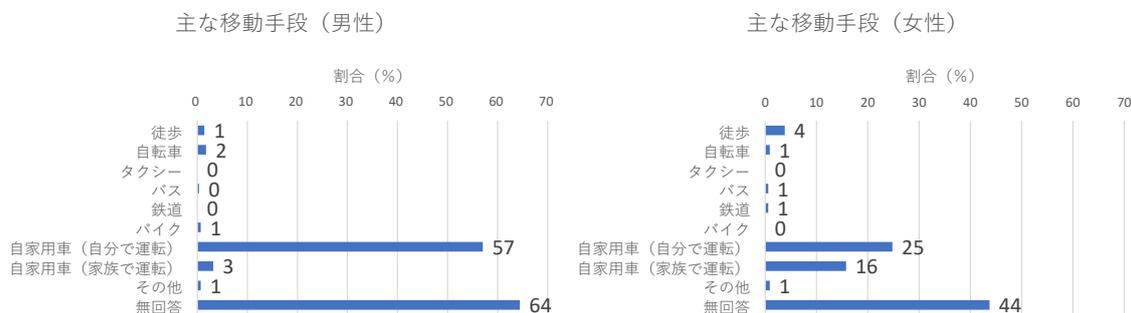
休日の調査日（10月29日（日））における外出目的をみると、買物が29%と最も多く、ついでその他9%、食事・社交・趣味8%、観光・行楽・レジャー7%であった。

【免許保有別】



免許の有無で外出目的をみると、免許非保有の場合、買物が68%を占めるほか、「その他」としてデイサービス、介護施設、集会所などの外出が16%と多く、日常生活に欠かせない目的で外出している。免許保有者が多様な目的で外出しているのに比べ対照的である。

(3) 主な移動手段

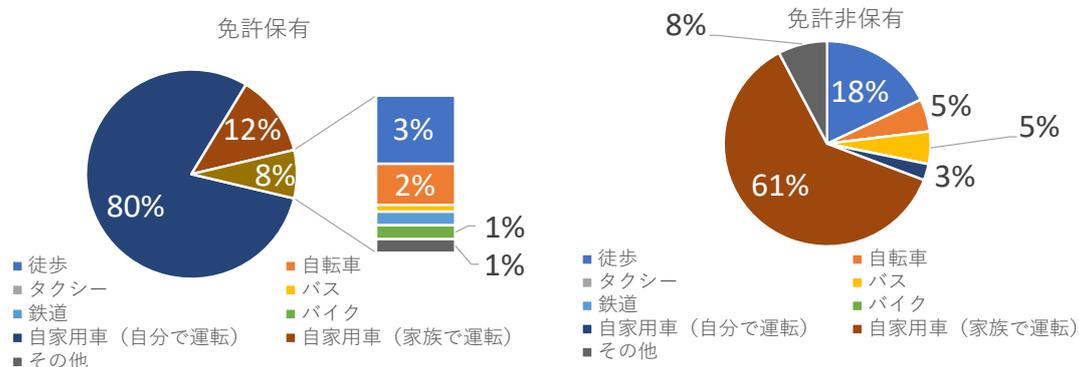


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
徒歩	4	13	0	17	1	4	0	3
自転車	5	3	0	8	2	1	0	1
タクシー	0	0	0	0	0	0	0	0
バス	1	2	0	3	0	1	0	0
鉄道	0	2	0	2	0	1	0	0
バイク	2	0	0	2	1	0	0	0
自家用車 (自分で運転)	162	85	3	247	57	25	27	39
自家用車 (家族で運転)	9	54	0	63	3	16	0	10
その他	2	3	0	5	1	1	0	1
無回答	183	150	3		64	44	27	0
計	284	343	11	638	-	-	-	-

【全体結果】

休日の調査日（10月29日（日））における移動手段をみると、自家用車がほとんどであり、バス、鉄道は1%、タクシーは0%と全くと言ってよいほど、公共交通機関が使われていない。

【免許保有別】



免許の有無で移動手段をみると、免許保有の場合、80%が自分で運転して移動している。免許非保有の場合は、61%が家族に運転してもらって移動している。いずれも家族が運転する割合が平日より高くなる傾向にある。

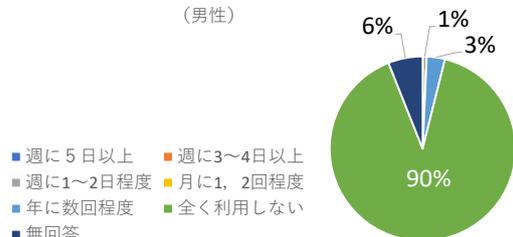
平日に比べると、「その他」のデイサービス、施設の送迎を利用している割合は 8%と低い。免許非保有でもバスは 5%、鉄道、タクシーは 0%であり、自家用車の代替手段として使われているとはいえない。

3. 公共交通の利用状況について教えてください

3-1. あなたは、路線バスをどの程度利用されていますか

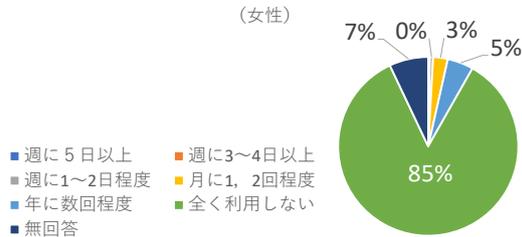
あなたは路線バスをどの程度利用されていますか

(男性)



あなたは路線バスをどの程度利用されていますか

(女性)



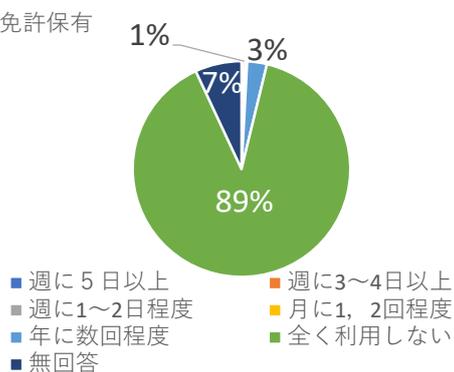
	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
週に5日以上	0	1	0	1	0	0	0	0
週に3~4日以上	0	0	0	0	0	0	0	0
週に1~2日程度	2	2	0	4	1	1	0	1
月に1, 2回程度	0	9	0	9	0	3	0	1
年に数回程度	9	16	0	25	3	5	0	4
全く利用しない	256	291	9	556	90	85	82	87
無回答	17	24	2	43	6	7	18	7
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

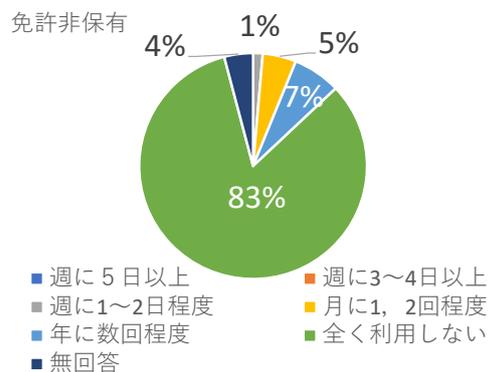
路線バスについては87%が「全く利用しない」と回答している。「週に1~2日程度」と定期的に利用している方は1%に過ぎない。男女別ではやや女性の利用が多い。

【免許保有別】

免許保有



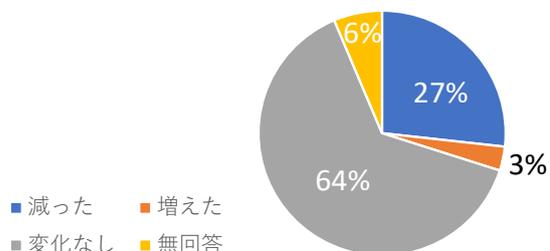
免許非保有



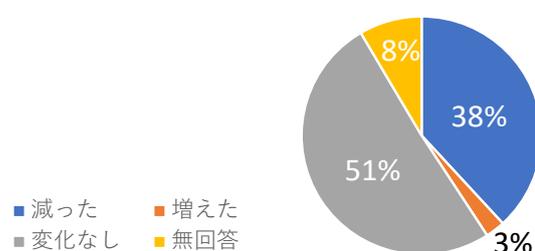
免許の有無でみると、免許非保有の方が路線バスを利用する人がやや多い。それでも「全く利用しない」が83%と、免許を持っていなくてもほとんどの人がバスを利用していない。

3-2. 新型コロナウイルス感染症拡大前と以降を比較して、外出する頻度や自家用車を利用する(または送迎してもらう)頻度は変わりましたか

新型コロナウイルス感染症拡大前と以降を比較して、外出する頻度は変わりましたか（男性）

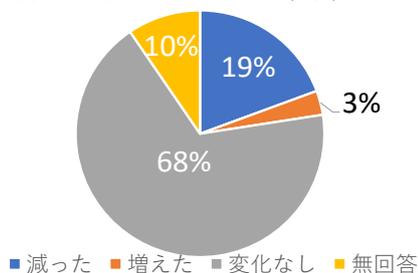


新型コロナウイルス感染症拡大前と以降を比較して、外出する頻度は変わりましたか（女性）

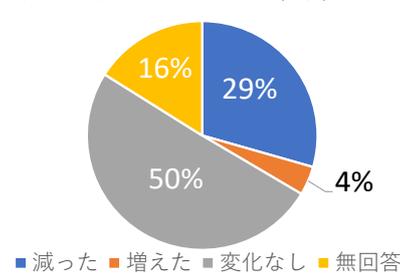


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
減った	76	131	5	212	27	38	45	33
増えた	9	9	0	18	3	3	0	3
変化なし	181	174	4	359	64	51	36	56
無回答	18	29	2	49	6	8	18	8
計	284	343	11	638	100	100	100	100

新型コロナウイルス感染症拡大前と以降を比較して、自動車利用の頻度は変わりましたか（男性）



新型コロナウイルス感染症拡大前と以降を比較して、自動車利用の頻度は変わりましたか（女性）



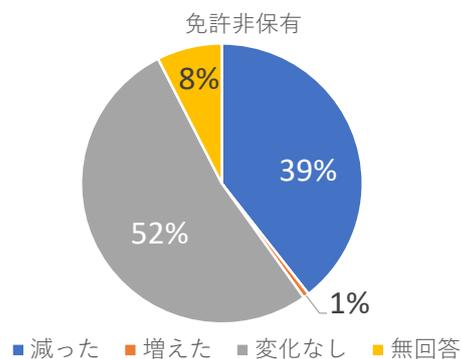
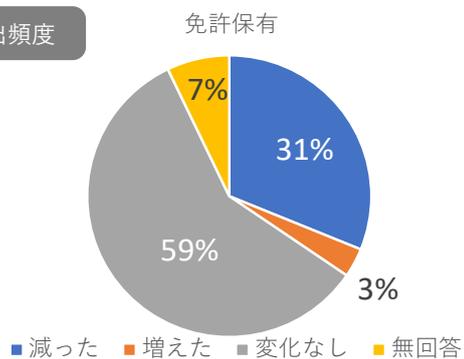
	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
減った	55	101	2	158	19	29	18	25
増えた	9	14	0	23	3	4	0	4
変化なし	193	173	4	370	68	50	36	58
無回答	27	55	5	87	10	16	45	14
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

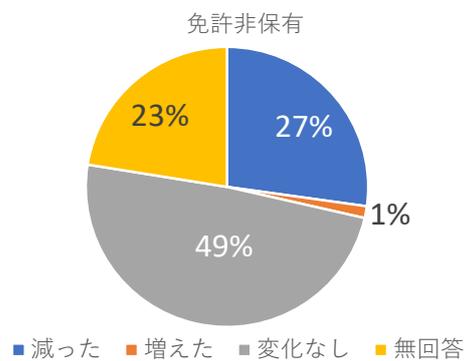
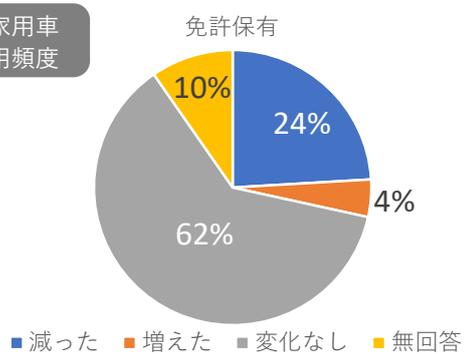
新型コロナウイルス感染症により、外出する頻度が減った人が33%と3分の1に達する。女性が38%とやや減った人が多い。自家用車の利用頻度が減った人は25%であり、こちらも女性が29%とやや減った人が多い。

【免許保有別】

外出頻度



自家用車 利用頻度

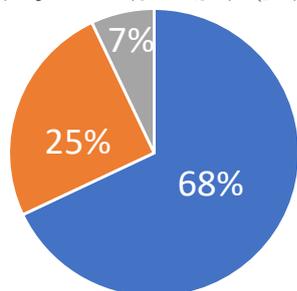


免許の有無でみると、免許非保有の方が外出頻度（39%の人が減った）、自家用車利用頻度（27%の人が減った）ともに減った人が多い。

新型コロナ感染症の影響により、外出率が3分の1程度減少しており、免許を持たない人の方がより減少するなど影響を受けていることがうかがえる。

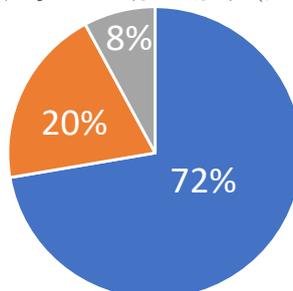
3-3. あなたは路線バスについて、以下の項目をご存じですか

最寄りバス停の場所（男性）



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

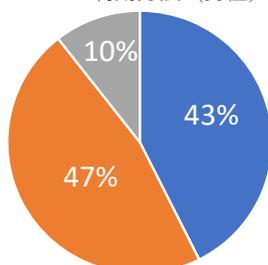
最寄りバス停の場所（女性）



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

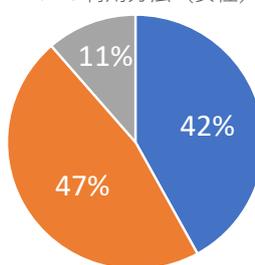
	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
知っている	192	248	6	446	68	72	55	70
知らない	72	69	3	144	25	20	27	23
無回答	20	26	2	48	7	8	18	8
計	284	343	11	638	100	100	100	100

バスの利用方法（男性）



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

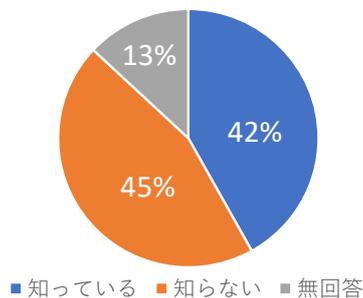
バスの利用方法（女性）



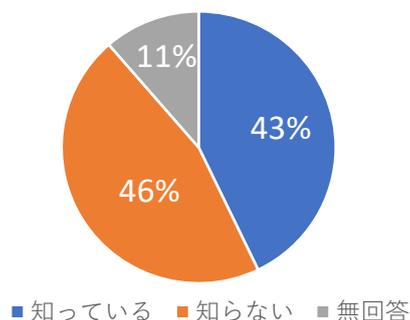
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
知っている	121	144	2	267	43	42	18	42
知らない	133	160	5	298	47	47	45	47
無回答	30	39	4	73	11	11	36	11
計	284	343	11	638	100	100	100	100

運行経路・時刻表の調べ方（男性）

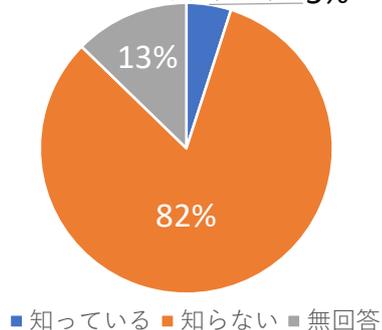


運行経路・時刻表の調べ方（女性）

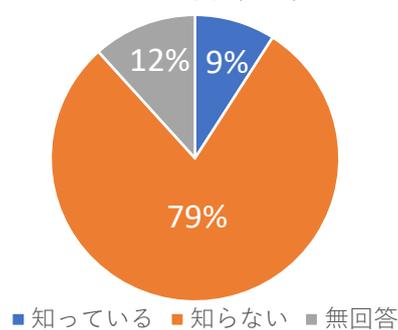


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
知っている	119	146	2	267	42	43	18	42
知らない	128	158	5	291	45	46	45	46
無回答	37	39	4	80	13	11	36	13
計	284	343	11	638	100	100	100	100

バスの運賃（男性） 5%



バスの運賃（女性）



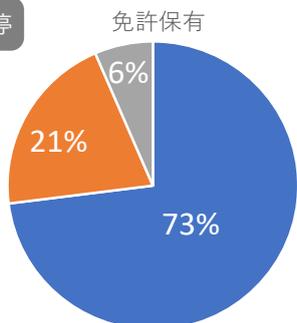
バスの運賃	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
知っている	14	31	0	45	5	9	0	7
知らない	234	272	7	513	82	79	64	80
無回答	36	40	4	80	13	12	36	13
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

バス停の場所については70%の人が知っているが、バスの利用方法や運行経路・時刻表の調べ方について知っている人は約4割にとどまる。バスの運賃を知っている人は7%に過ぎない。3-1の回答より、路線バスはほとんど利用されていないことが確認されたが、路線バスを利用していないため、バスの利用方法を知らない人が多い。

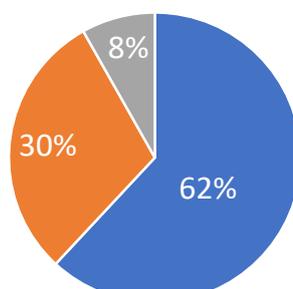
【免許保有別】

最寄りバス停



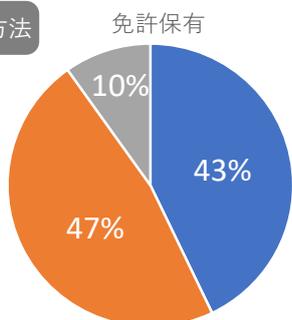
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

免許非保有



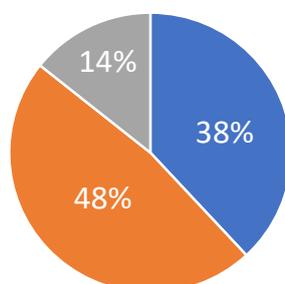
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

バスの利用方法



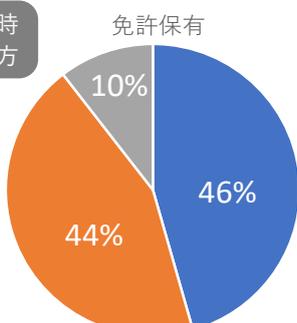
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

それ以外



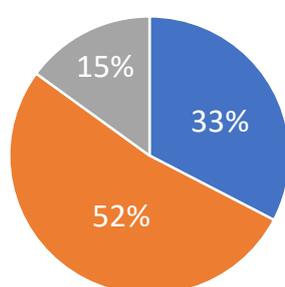
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

運行経路・時刻表の調べ方



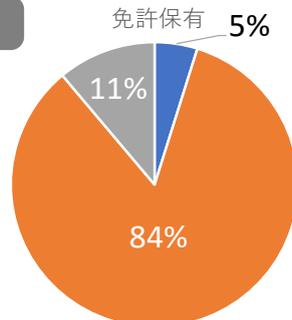
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

免許非保有



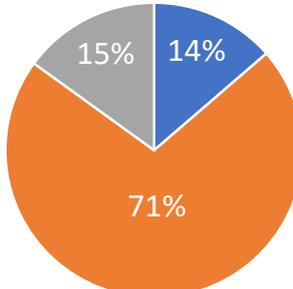
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

バスの運賃



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

免許非保有



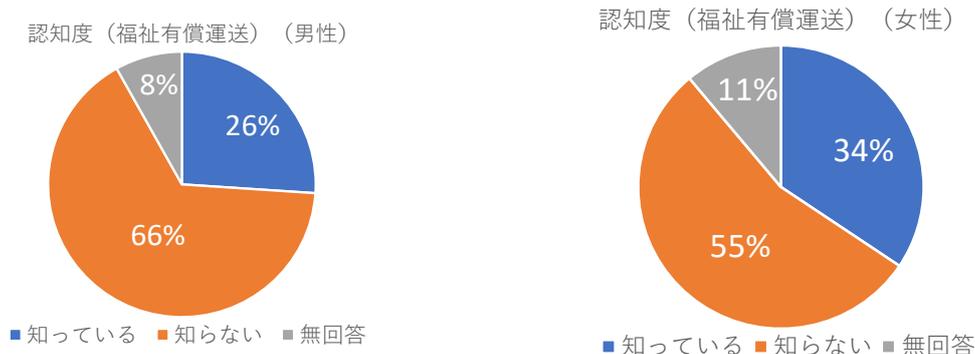
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

免許の有無でみると、むしろ免許の無い人の方がバスの利用方法を知らない人が多い傾向にある。バスの利用方法が分からないために、バスを利用していない可能性がうかがえる。

3-4. あなたは、以下の移送サービスを知っていますか。また、利用したことはありますか

(1) 福祉有償運送

(ア) 認知度

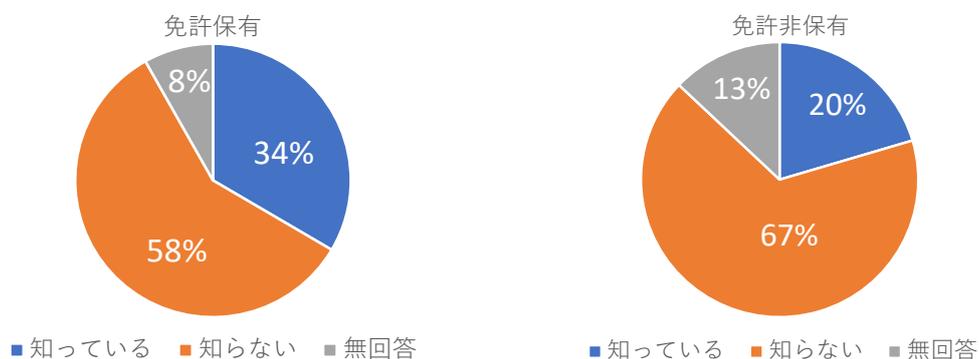


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
知っている	74	115	4	193	26	34	36	30
知らない	187	190	4	381	66	55	36	60
無回答	23	38	3	64	8	11	27	10
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

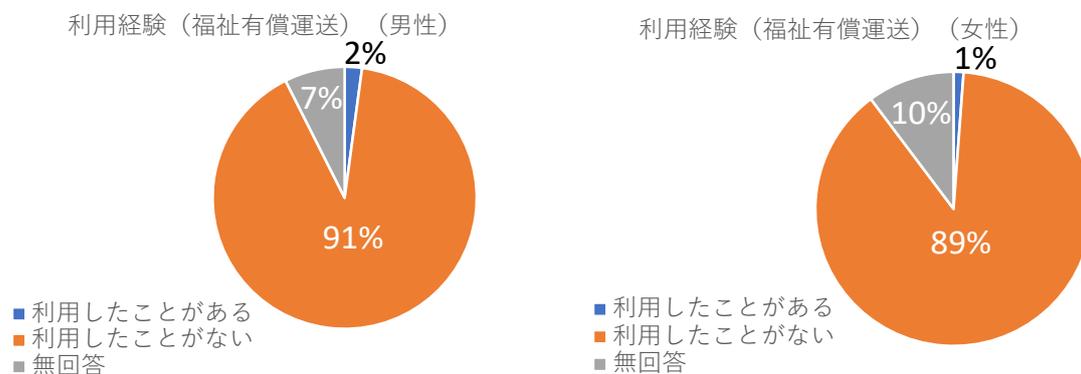
福祉有償運送について「知っている人」は 30%にとどまる。女性の方が利用者が多いことが影響しているためか、女性の認知度の方が 34%と男性の 26%に比べて、やや高い。

【免許保有別】



免許の有無でみると、むしろ免許の無い人の方が「知っている人」が 20%と少ない。

(イ) 利用経験



	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
利用したことがある	6	4	1	11	2	1	9	2
利用したことがない	257	304	7	568	90	89	64	89
無回答	21	35	3	59	7	10	27	9
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

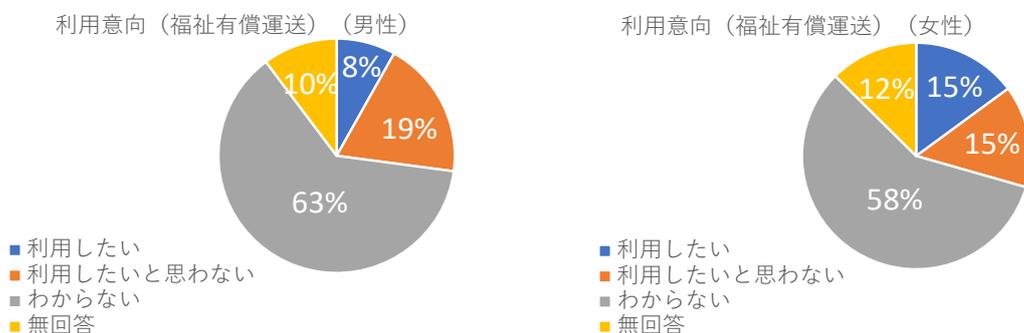
福祉有償運送を「利用したことがある」人は2%に過ぎず、ほとんどの人が「利用したことがない」と回答している。福祉有償運送サービスの認知度、利用が進んでいないことがうかがえる。

【免許保有別】



免許の有無でみると、免許の無い人の方が「利用したことがある」人が3%とやや多いものの、免許の無い人でも、福祉有償運送の利用者は非常に限定的であることがうかがえる。

(ウ) 利用意向

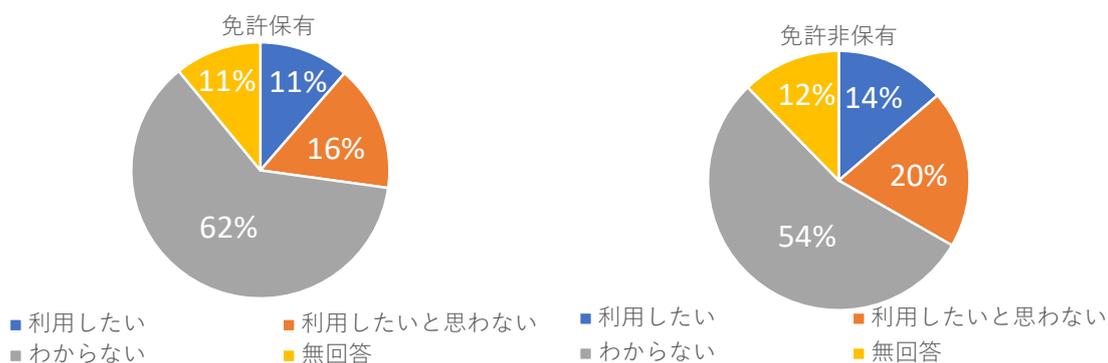


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
利用したい	23	51	3	77	8	15	27	12
利用したいと思わない	54	50	1	105	19	15	9	16
わからない	178	199	4	381	63	58	36	60
無回答	29	43	3	75	10	13	27	12
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

福祉有償運送の利用意向をみると、「利用したい」人が12%と、実際の利用経験者が2%にとどまることに比べると高く、一定の需要があることがうかがえる。特に女性の利用意向が15%と男性に比べて高くなっている。

【免許保有別】

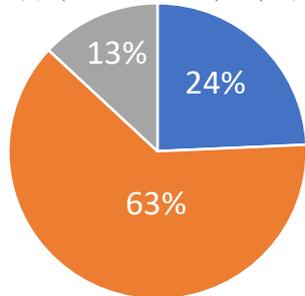


免許の有無でみると、免許の無い人の方が「利用したい」人が14%とやや多い。一方で「利用したいと思わない」人も20%と高い。また、過半数が「わからない」と回答している。福祉有償運送に対する一定の需要はあるものの、サービスの周知について、改善の余地があることがうかがえる。

(2) デマンドバス

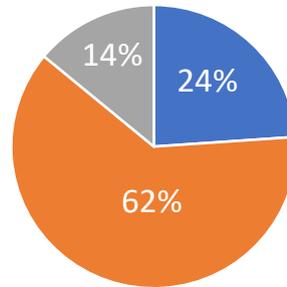
(ア) 認知度

認知度（デマンドバス）（男性）



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

認知度（デマンドバス）（女性）



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

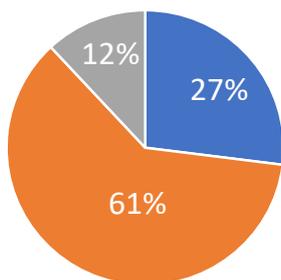
	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
知っている	68	81	2	151	24	24	18	24
知らない	179	214	5	398	63	62	45	62
無回答	37	48	4	89	13	14	36	14
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

デマンドバスについて「知っている人」は 24%にとどまる。男女による差はほとんど見られない。

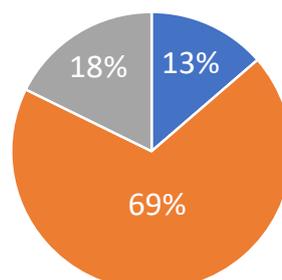
【免許保有別】

免許保有



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

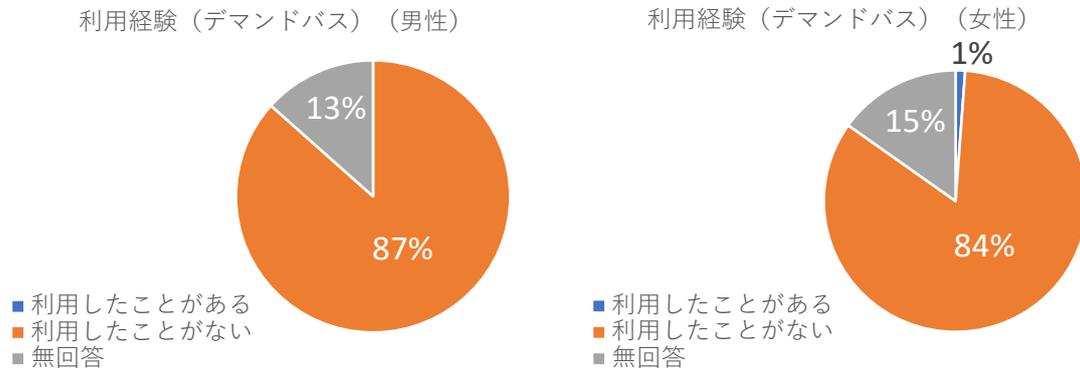
免許非保有



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

免許の有無でみると、むしろ免許の無い人の方が「知っている人」が 13%と少ない。

(イ) 利用経験

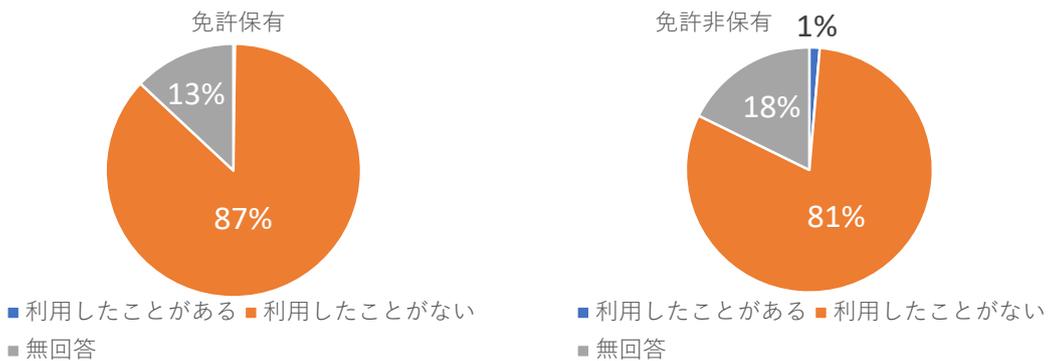


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
利用したことがある	0	4	0	4	0	1	0	1
利用したことがない	246	287	7	540	87	84	64	85
無回答	38	52	4	94	13	15	36	15
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

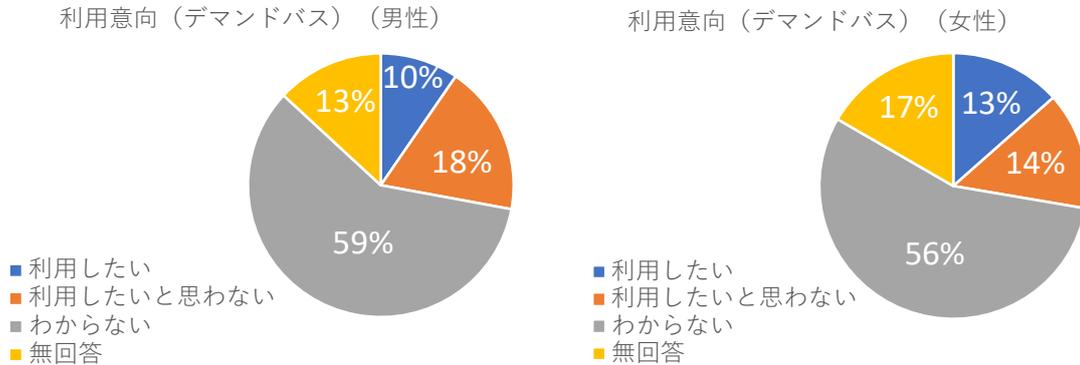
デマンドバスを「利用したことがある」人は1%に過ぎず、ほとんどの人が「利用したことがない」と回答している。坂上地区しか運行していないため、福祉有償運送サービス以上にデマンドバスの認知度、利用が進んでいないことがうかがえる。

【免許保有別】



免許の有無でみると、免許の無い人の方が「利用したことがある」人が1%とやや多いものの、免許の無い人でも、デマンドバスの利用者は非常に限定的であることがうかがえる。

(ウ) 利用意向

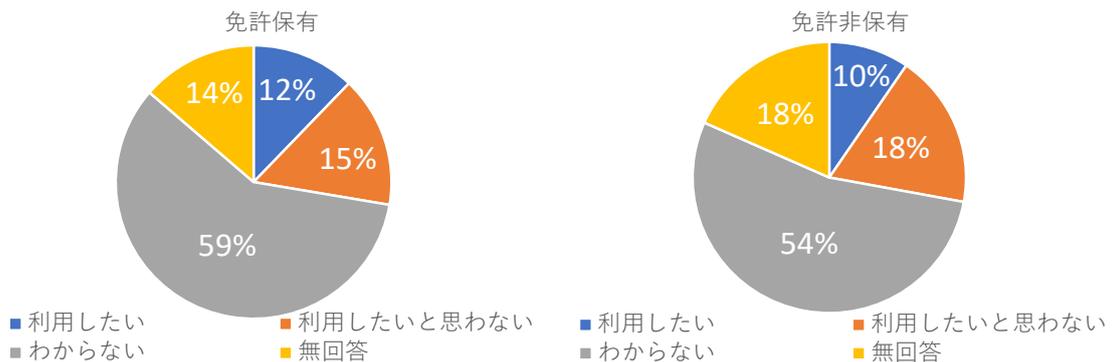


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
利用したい	28	46	2	76	10	13	18	12
利用したいと思わない	52	49	0	101	18	14	0	16
わからない	167	191	5	363	59	56	45	57
無回答	37	57	4	98	13	17	36	15
計	284	343	11	638	100	100	100	100

【全体結果】

デマンドバスの利用意向をみると、「利用したい」人が12%と、実際の利用経験者が1%にとどまることに比べると高く、一定の需要があることがうかがえる。特に女性の利用意向が13%と男性の10%に比べて高くなっている。

【免許保有別】

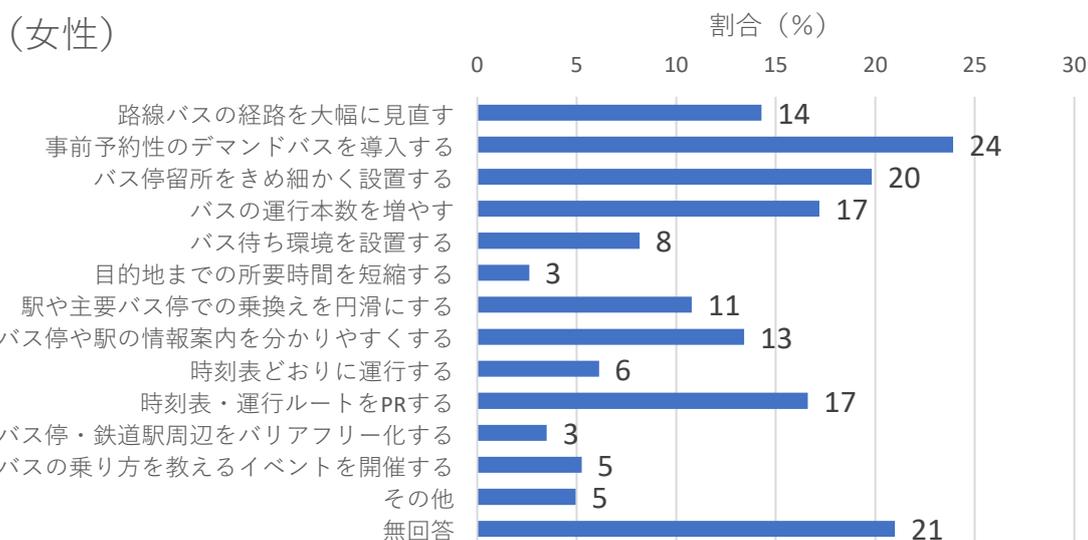
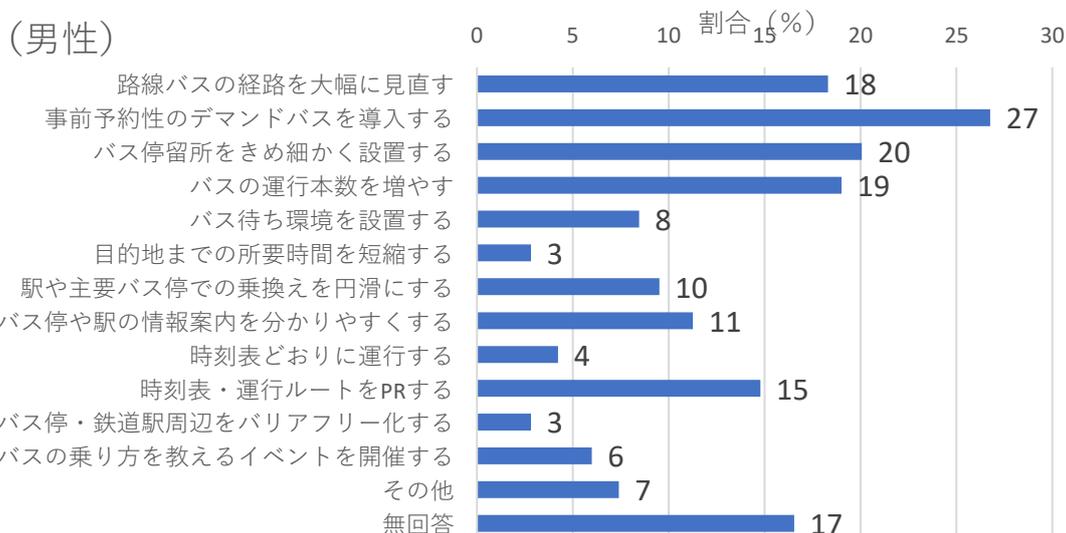


免許の有無でみると、むしろ免許の無い人の方が「利用したい」人が10%と少なく、「利用したいと思わない」人が18%やや多い。また、過半数が「わからない」と回答している。

これまでに利用したことがないため、デマンドバスの利便性に対する理解が進んでおらず、導入にあたっては十分な周知を行うことが課題となることがうかがえる。

4. 高齢者の方も利用しやすい公共交通の実現に向けてお尋ねします

4-1. バスをより使いやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか

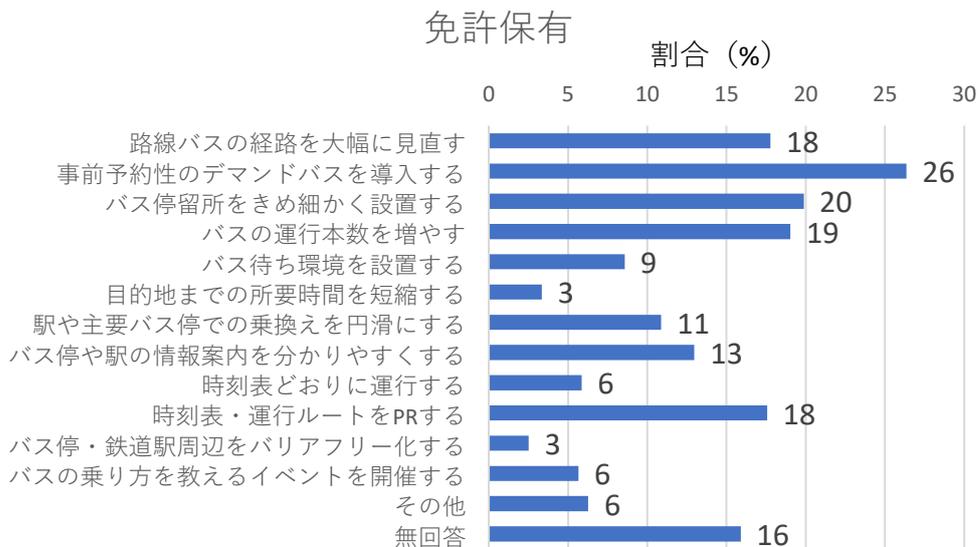


	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
路線バスの経路を大幅に見直す	52	49	1	102	18	14	9	16
事前予約性のデマンドバスを導入する	76	82	3	161	27	24	27	25
バス停留所をきめ細かく設置する	57	68	2	127	20	20	18	20
バスの運行本数を増やす	54	59	0	113	19	17	0	18
バス待ち環境を設置する	24	28	0	52	8	8	0	8
目的地までの所要時間を短縮する	8	9	0	17	3	3	0	3
駅や主要バス停での乗換えを円滑にする	27	37	1	65	10	11	9	10
バス停や駅の情報案内を分かりやすくする	32	46	0	78	11	13	0	12
時刻表どおりに運行する	12	21	0	33	4	6	0	5
時刻表・運行ルートをPRする	42	57	1	100	15	17	9	16
バス停・鉄道駅周辺をバリアフリー化する	8	12	0	20	3	3	0	3
バスの乗り方を教えるイベントを開催する	17	18	1	36	6	5	9	6
その他	21	17	1	39	7	5	9	6
無回答	47	72	6	125	17	21	55	20
計	284	343	11	638	-	-	-	-

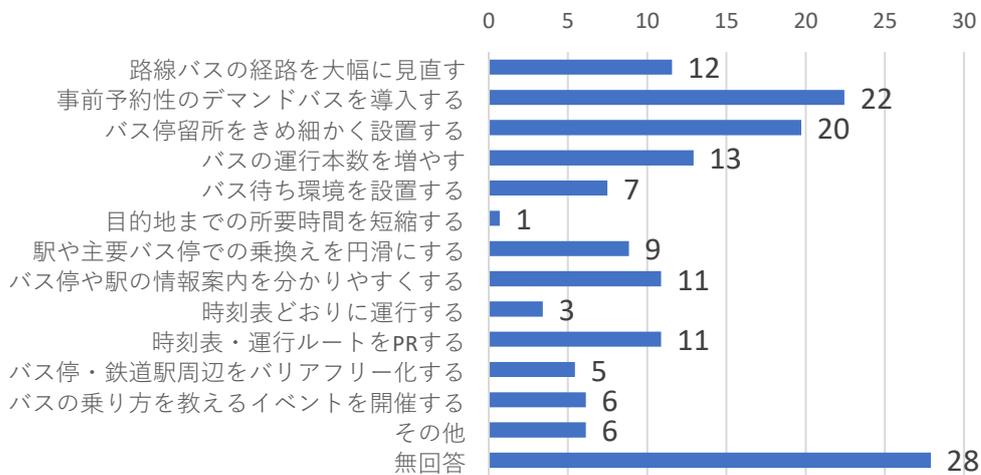
【全体結果】

バスをより使いやすくする取り組みとして回答が多かったのは、「デマンドバス導入(25%)」、「バス停留所をきめ細かく設置(20%)」、「バスの運行本数を増やす(18%)」、「経路を大幅に見直す(16%)」であった。男女別の傾向は変わらないものの、男性の方がこれらのサービス向上を求める割合が高い傾向にある。

【免許保有別】



免許非保有 割合 (%)



免許の有無でみると、免許のある人の方がバスサービス向上を求める回答が多い傾向にある。今後の免許返納の代替手段として、バスサービスに対する一定の需要があることがうかがえる。

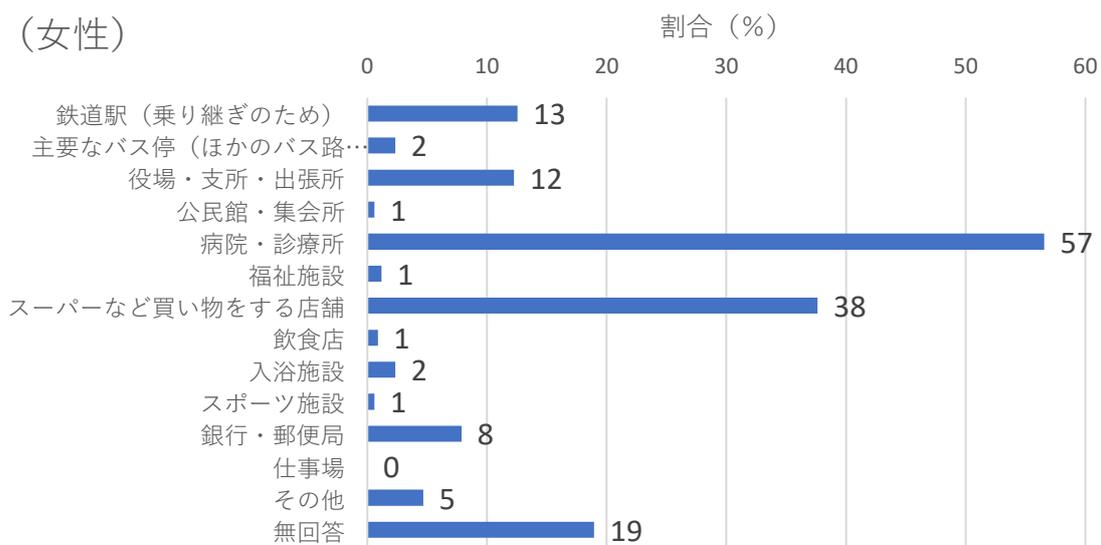
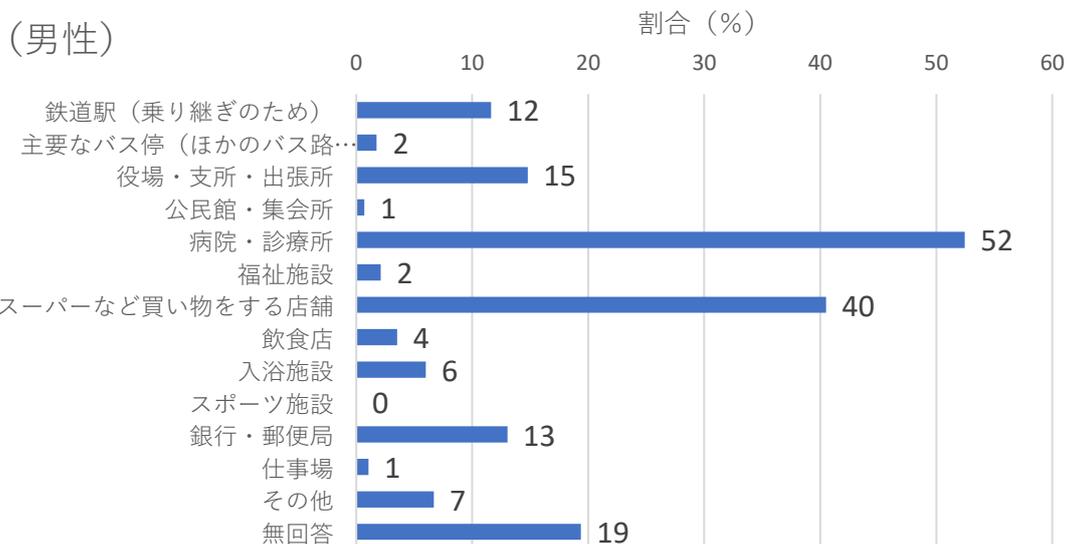
表 バスをより使いやすくする取り組みに関する自由回答

分類	意見
買物や通院に便利なバス	買い物バス等、週一で良いので運行すれば利用しやすいと思います。
	バス停を多く原町の路線を考え直し、脳外科まで伸ばして欲しい。
	私のところは萩生西榛名ですが婦人ホームまでは来ているようですが婦人ホームまで歩けません。バスに乗っても日赤、ベイシアに買い物するときは乗り換えると聞いています。それは大変なことです。
	病院とかスーパーを連結する。 近くに食料調達のできる店が欲しい。
自宅から目的地まで行けるバス	荷物があるため自宅までの送迎をお願いします。
	「高齢者」の位置づけが不明確である。「歩行はスムーズ」などの説明をするべき。バス停ができて歩くのは無理
	足が悪いので利用できない。
自宅近くで乗降できるバス	近くに停留所ができるといいと思う。
	バス停まで歩いていけない。唐沢は、人家が少ないところを走っていて利用できない。多いところを走ってもらいたい。
	バス停が遠く利用できない。
	バス停までの距離が長く利用しにくい。
	今は利用していないが、行くのに遠すぎる人のほうが多いと思う(その他の細い道へ)。
	大竹、沢尻地区まで来てもらいたい。 日中は高齢者が多いので、どこでも乗り降りができるとう助かります。

	バス停の外でも止まる。
デマンドバスの推進	この他「ぐるりん」（高崎市）のような運行を東岩島・坂上方面に運行することや乗り降り自由なタクシー（これも高崎市で実施）を運行する（無料だと思いました）
	タクシーのようにどこでも行けてバスのように安い乗り物が欲しい。
	デマンドバスの利用状況を知っている運転手や運営関係者で話し合い、できる範囲でやってみて変化に併せて変えていく。
	当日予約できるデマンドバスを導入する。
	バス停までの歩く時間がかかり、体調不良の時は困るので予約制デマンドバスをぜひともお願いしたいです。
	好きな時間に tel にて来てくれる、タクシーみたいな。他県でもやり始めていますよね！
	運転をやめても必要な時常に利用できて出かけられるようになると心配事の一つがなくなる。
	過去に公共のバスを申し込んでバス停で待っていたがその停車場まで置いて行かれた。自宅に帰って自家用車で行った。時間に間に合っただけよかった。その後不安なので利用はやめた。
バス運賃	バスの運賃を安くしてもらいたい。
	運賃がわからない。
バス本数	小型バスでもいいから本数を増やしてほしい。
	コロナの時期に免許返納したが、ちょうどバスが運行停止していて不便だった。
駐車場	旅行など、バスと車で移動する際駐車場に困る。
福祉有償運送	バスを増やすのは、無理があると思うので、福祉有償運送を充実させてもらえればいいと思う。
車椅子対応	車いす等の利用が楽になるように考えてもらいたい。
情報提供	バスの行き先がわからないが誰に聞けばいいかも不明。
	12のイベントでなくてもパンフレットでOKです。
家族の自家用車で移動	ない。家族の車で十分
	昔から自家用車を運転していますので、返納してからも、家族の自家用車で乗せて外出しています。
	自分で行動を取ることができないため、家族に世話になる。
よくわからない	現在は使用していないのでわからない。
	バスが通ることがないのでわからない。
	まだ運転しているのでわからない。
	利用していないのでわからない。
	分かりません。
	現在は、自動車を利用しているのでわからない。
	今のところ利用しないのでわからない。
	思いつかない。
よくわからない	自家用車生活のため、今はほかの方法は考えられない。
	利用したことがないのでよくわからない。

よくわからない	利用したことがないのでよくわからない。
	利用はしないと思います。
	路線がわからないので分からない。
その他	・私の息子は、交通不便が原因で高崎へ ・もっと誇りを持てる地域に
	今のままでいいと思います。
	使わない。
	早急に対応していただきたい。

4-2. どのようなところに、バスを使って行きたいと思いますか



	n				構成比			
	男	女	無回答	計	男	女	無回答	計
鉄道駅（乗り継ぎのため）	33	43	0	76	12	13	0	12
主要なバス停（ほかのバス路線に乗り継ぐため）	5	8	0	13	2	2	0	2
役場・支所・出張所	42	42	0	84	15	12	0	13
公民館・集会所	2	2	0	4	1	1	0	1
病院・診療所	149	194	5	348	52	57	45	55
福祉施設	6	4	1	11	2	1	9	2
スーパーなど買い物をする店舗	115	129	2	246	40	38	18	39
飲食店	10	3	0	13	4	1	0	2
入浴施設	17	8	1	26	6	2	9	4
スポーツ施設	0	2	0	2	0	1	0	0
銀行・郵便局	37	27	1	65	13	8	9	10
仕事場	3	0	0	3	1	0	0	0
その他	19	16	3	38	7	5	27	6
無回答	55	65	3	123	19	19	27	19
計	284	343	11	638	-	-	-	-

【全体結果】

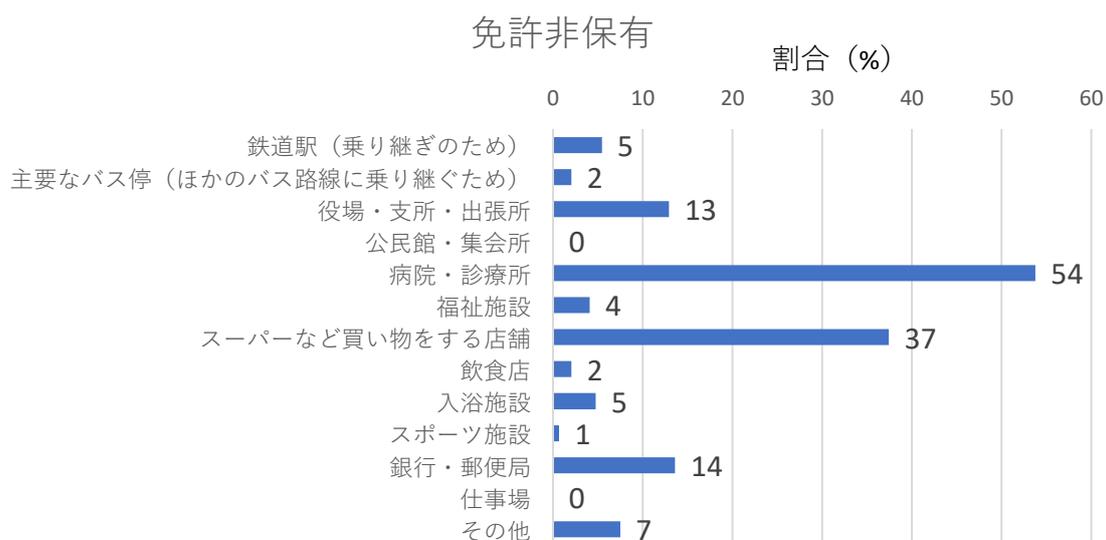
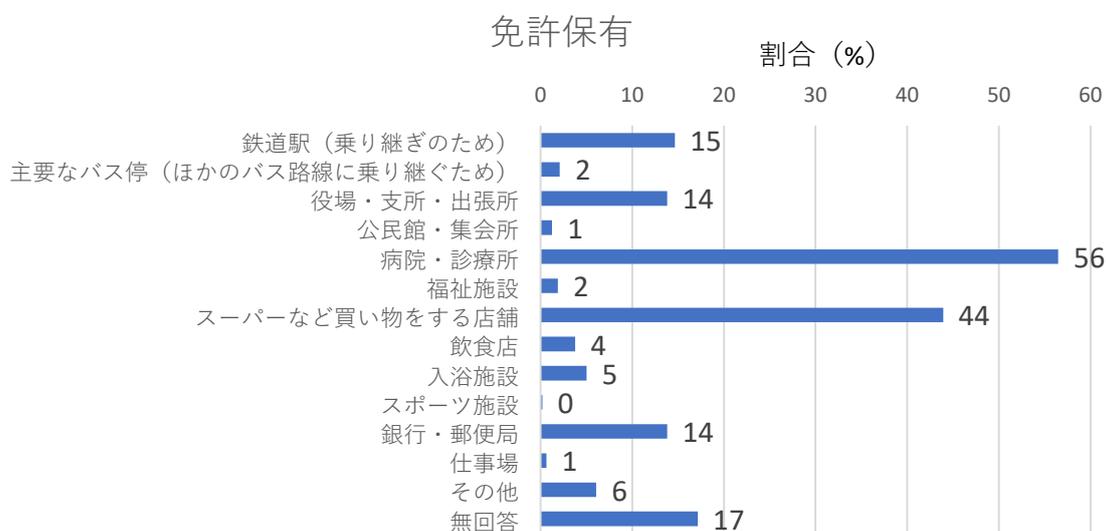
バスを使って行きたいところについては、外出目的と同様に、病院・診療所（55%）、買物をする店舗（39%）の2つが際立って高い。男女による差はほとんど見られない。

表 バスをより使っていきたいところに関する自由回答

分類	意見
行きたいところなど	病院
	食事（家族と）
	レジャー
	必要とする目的地
	必要に応じてすべて
	運転が出来なくなったら。
バス利用に課題	ほかの町村のバスのつなぎ案内が欲しい。
	免許返納後国道ではなく家のすぐそばまで来てもらいたい。
	バス停まで遠い。
	バスで行きたい場所がない。
	足が弱く、バスに乗れない 本数も少ない。
自家用車を利用	自家用があるため、バス使用はない。
	今は自動車でいきますよ。
	自分で運転してどこでも行ける。
	今後自動車の運転をする予定

自家用車を利用	自家用車以外考えられない。
	まだ運転しているのでわからない。
	家族の車で十分
	家族に任せる。
バス利用なし	今のところ元気なので、バス移動は考えません。
	バスを使って今は別にどこも行きたいと思わない。
	現状では最寄り駅まで徒歩で行けるので行きたい場所も鉄道を使っていけるのでバスを使う必要性がない。
	原町在住でありほとんどのところは歩いていけるので、バス利用は考えていません。
	現在は、徒歩で間に合うのでバスの使用はしていません。
	足が不自由のため、でかけない。
	使わない。
	バス利用なし。
	今のところ利用なし。
わからない	わからない。
	利用しないので分からない。
	今のところバスの利用がないのでよくわからない。
	バスに乗ることがないので、わかりません。
	バスはないので今はわかりません。
	なし
	特になし
	今のところない。
	今のところ、特になし
	思いつかない。
	特にありません。
	歩行が難しい人にこの質問はおかしいと思う。

【免許保有別】



免許の有無でみると、免許のある人の方が行きたいところを回答する割合が高い傾向にある。今後の免許返納の代替手段として、バスサービスに対する一定の需要があることがうかがえる。

5. 自由意見

分類	意見
買物や通院に便利なバス	今後数年後に車の運転ができなくなった時に買物や病院など生活に欠かせないことができなくなってしまうので他のまちで計画しているシルバー買物バスの計画をしていただければ安心して買物等ができるのではないかと思います。
	通院したくても子供たちは仕事をあまり休めないので困っています、自宅まで送迎してくれることを願っています(予防接種とか)。
	ノンステップの小さなマイクロバスで日赤、役場、よく高山村のバスが止まっている。A コープうらのベシアの駐車場、郵便局あたりを回るバスが必要だと思います。午前一本、午後一本くらいであれば皆便利かと思います。
	運転できない日の病院などに行くときにお願いしたい。
	高齢者が免許証の返納が出来ないような地区なのできめ細かい対応が必要だと思います。特に原町以外の地区は上記 1, 3, 5, 7 等へ行くにも大変であり。1 は電車の時刻他は用事を済ませてから帰りのバスまでの時間等のない問題もあると思います。帰りのバスの時間により、半ば一日かかってしまうかもしれません。一日のバスの本数も方面別にわかっていませんが、買物、通院等はそれ専用のバスがあってもいいのでは？
	坂上は静かですが、病院、食料品の買物は自家用車でないとなかなか不可能。バス停が遠い。本数が少ないことが問題点となる。またバス料金も高い。地域によっては乗り放題 300 円のところも多い。(坂上本宿地区の場合原町へ行くのに乗り換えだから仕方ないのか?)
	三島地区から岩島地区を回るバス運行希望、原町のスーパーや病院に行けるルートを作ってほしい、郵便局・銀行・駅・役場も然り。
	住民ニーズにこたえていない・病院など生活に不可欠な場所へのアクセスを工夫・高齢者などの利便性を考え早急に対処してほしい。
	人口が少なくなり、ますます孤立化しているなか、ますます高齢者の運転が増えてる、これからも事故が多発するでしょう。買物に行くことが出来なくなることが一番不安になる。長野原町には、軽トラでモノを売るスーパーが来てくれています。バス停まで歩いていくのも遠く、介護タクシーの使い方がわかりません。
	体調のいい日に大型店へ買物に行きたい、買物バスツアーの実施希望
	町営住宅にバス停を設置し、スーパー、病院、役場等に移動できるようにしてほしい。
	買物バスを運行してほしい。通院のために有料でもいいからサポート体制を作ってほしい。
	病院、買物に家の庭から乗せて行っていただきたいです。
	病院・スーパーに快適に行けるようにしてほしい、乗り合いタクシーのようなものが家の近くまで来てくれるならありがたい。
	毎日同じ路線ではなく、曜日ごとに地域を決めて商業施設や病院を回るようにしたらどうか、自分の地区にごみ収集車が来るようにバスが来てくれば、それに合わせて町民が生活を変えるかもしれない。
	役場、病院、スーパーなど年老いて、車を返納した場合バス停まで遠い。

	利用者に聞いた話として脳外科まで運転手に頼んでもダメとのこと。
自宅から目的地まで行けるバス	高崎、中之条みたいに自由に行けるようにしてもらいたい。
	自家用車のように自由に使えるようになるといい。6人乗りくらいのバスで本数を増やして小回りが利くようになるといい。
	中之条町でタクシーが街の委託を受けて
	中之条町には無料の各地から中之条のスーパー、日赤病院等の循環バスが出ているとお聞きしましたが本当ですか。もしあったら免許返納が早めに行けるかも。高齢者にやさしい制度だと思います。
	免許返納後に週2くらいで家の近くまで来てほしい。
	免許返納後の生活に少し不安がある。バス停が近くにあってほしい。
	自宅まで迎えに来られる交通を検討してほしい 現状、バス停まで出られない様々な交通手段を洗い出して、プロジェクトチーム、ワーキングチームを立ち上げてみてはいかがでしょうか。
	足が悪いためバス停までいけない。家の外まで。
	泉沢に入ったら、家の近くであり、バス停留所でもらくにいかなくてよい。
	各地区でのデマンドバス利用はもちろんですがバス停が遠く大変な方もいると思いますのでなるべく自宅の近くで乗車できるようなシステムづくりが必要だと思います。
自宅近くで乗降できるバス、乗合タクシー	これから運転できなくなったらお願いしたいです。家まで来てもらいたい。
	年を重ねると足や腰が悪くなります。自宅の前まで来てくれる乗り合いタクシーがあればと思う。お世話になります。
	年を取っての利用となるので、家の近くまで（部落）来ていただけるような車、バスであればいいかな？病院、買い物、施設などに利用したい。無理かもしれないが、できれば低料金で。（町内ならどこでも一律料金がいい。
	何年かしたら、利用したいと思います。バス停が近くになれば自宅付近で乗り降りできれば。
	バス停が近くにあっても自宅から歩くのに時間がかかる。（足腰が悪ければ）高齢になるほど、バス停まで歩けないので自宅お近くに乗降できるようなシステムを採用してほしい。
	バス停まで歩いて一時間以上かかるのでバス利用はできない。
	バス停までの距離があるので、体が不自由になったら、ひきこもりになるほかないかなと心配です。
自宅近くで乗降できるバス、乗合タクシー	バス停ではなく自宅近くまで迎えに来てほしい。
	病院、買い物等、日常生活に困っています。家の近くまで利用できる週一回は外出できるバスがあると大変うれしいです。
	婦人ホームまでは来ているようですが年の人は歩けません。よろしく願います。

自宅近くで乗降できるバス、乗合タクシー	<p>現在車を運転するので、日常生活の中でバス利用のことをあまり意識していません。今後健康を害して運転できなくなってしまった場合は、デマンドバスの利便性をさらに高めて利用できたらいいかとおもいます。なぜなら、近所の高齢者が「自宅からバス停までが遠いので車に乗れなくなったらどうしたらいいか」と言っていたからです。</p>
	<p>今は自分で運転できるけど、タクシーのように来てくれてそれがだめなら曜日限定でもいいので迎えに来てくれるものがあるといいと思います。</p>
	<p>将来的に免許証を返納した場合、できるだけ自宅に近い場所から路線バスの利用ができたらと思う。</p>
	<p>乗合タクシーの導入</p>
自由に乗降できるバス	<p>町内どこからでも挙手により乗せてもらえると便利。</p>
	<p>停留所だけでなくどこでも乗り降りできるバスがあればと思います。</p>
	<p>バスはどこでも乗り降りができればいい。またバスもタクシーと同じくらいの車で送迎をすればいいと思います。</p>
	<p>バス停以外でも乗降可能にしてほしい。</p>
	<p>バス停の途中でも止めてもらえたらうれしい。</p>
	<p>町内の道路を完璧に舗装し交通網を整える。AI 搭載車両を導入し、自由に乗り降り可能な体制を整えることでスマホからも操作が可能になるのではないか。</p>
デマンドバスの推進	<p>デマンドバスの運行を推進してほしい(料金は一律で町民が利用しやすいように)。</p>
	<p>・団体で来てもらうシステムが必要　・必要な時だけ動く車のシステムが必要</p>
	<p>・必要な場所に待ち時間を最小限で運行できるシステムが必要(ハイブリットのミニバンくらいがいい)・スクールバスの活用</p>
	<p>いずれは夫婦で免許を返納しなければならなくなる。病院、日常の買い物等坂上地区ではできなくなる今から心配している。やはり電話予約する今の方法がいいと思う。</p>
	<p>少し小型のタウンバスにして目的地まで遠回りをせず直通で行けるようにしたほうがよい。目立つ色、カラフルにしてみたり、どこでも停留所とか、いろいろ工夫して使い易くする必要があると思う。すぐそこまで免許返納が増えてくると思う。</p>
	<p>タクシー的な利用で料金を安く。</p>
	<p>タクシーのように使えてバスのように運賃の安い公的な乗り物があってほしい(登録制でもいいと思う)町内で使える商品券を配布してほしい。</p>
	<p>デマンドバスの認知度が低いとともに、利用方法がわかりづらいと思うので、PR に努力していただきたい。</p>
	<p>デマンドバスを導入するのも1案だと思います。</p>
	<p>年金生活者でもなんとか払える料金の事前予約の小型バスがあればと思います。</p>

	<p>経路・乗り換え地点・時刻等に柔軟性を持たせたり、利用者が電話予約以外にもネットから予約できるようになるといい。</p> <p>今後デマンドバスの運用の充実化は必要不可欠である。また、各個人による乗合に工夫があればいい。例えば、カーシェアリング。個人の情報を共有し得るアプリの確立も今後の検討課題では。公助のみではなく共助の力も必要。</p> <p>小回りの利く車でいつでも予約すれば送迎していただけるようお願いしたいです。</p> <p>登録制にして個人的な必要を顧みるのはどうだろうか。</p> <p>福祉有償サービスをまだ知らない人がたくさんいる。近所にまた知人に御礼などをして送迎をやっていただいている。事故など起きると大変だと思う。デマンドバス、巡回バスあったらいいと思う。</p>
バスの運行本数を増やす	<p>土日祝の日に運行を希望する、今走っているほかに！</p> <p>バスの運行本数を増やすのは、予算の都合もあり、難しいと思いますが、検討していただけたらおもいます。</p> <p>バスの本数を増やしてほしい。</p> <p>午前二回、午後二回くらいまで増やしてもらいたい。</p> <p>待ち時間の多さで、バスを使おうと思わない。</p>
区間均一運賃バスの導入	<p>運賃を無料にしてもらいたい、または距離に関係なく、1回の乗車で同一料金にしてもらいたい。</p> <p>区間均一運賃</p> <p>路線を増やし定額で乗り放題はどうか。</p>
交通系 IC カードの導入	<p>JR に要望してもらいたい。suica の使用可能が中之条までなので東吾妻でも使えるようにしてほしい。時々ですが、中之条駅まで子供を送迎しています。</p> <p>原町駅やバスにも、suica みたいなやつ導入してほしい。</p> <p>町は温泉が2か所ありますが原町からの交通費をもう少し安く、そしてもっと温泉を利用できるように考えてほしい！年を取ると車に乗れなくなり、電車を利用しようと思っていますが、原町駅は無人駅です。子供のところへ行くのも高崎へ行くのも、切符のことが心配です。ぜひ駅に suica の使える機械を入れてほしいと願います。</p>
バスの運行方法など	<p>安心して免許返納できるようにしてほしい。地域ごとにバスの運行日を決めて運行してほしい。</p> <p>週2回くらい週別運行希望</p> <p>JR 駅や渋川市方面へのアクセスを考慮してほしい</p> <p>生活圏内を連絡する、中之条町・渋川市とも連絡し、共同で考える。</p>

	<p>毎月来る広報におんせん券が入っているが足がなく、行けません。週一でも東温泉バスを出していただけたらありがたいです。券はいつも人にあげています。前回もこのようなことを書きました。友達も書いたとのこと。行きたくてもいけない人がたくさんいるということを知ってほしいです。早くひとりでも多くの人がいけたら1日入ったり食事したりできることをお願いしたいと思います。</p>
	<p>無人バスを増やし、利便性を高め、利潤も追求する(継続するため)</p>
	<p>学校生徒が通学に利用しているバスに町民が利用できれば、現在通学時間帯が空いているバスが多く見られるため、新たに運行本数を増やす必要がないと思います。</p>
	<p>小学生、中学生が乗っている通学用のバスをうまく利用できたらと思う。</p>
	<p>バス乗降に苦勞、一人で買い物に不安</p>
	<p>マイカーを所有して外出していると路線バスのことは全くと言っていいほど知らないことばかり。もし、運転免許の返納ということになれば、路線バスを利用しないと生活が大変になると思うので東吾妻町にお願いしたいのは路線バスの利用方法や運行経路等のページを設けてほしいと思います。</p>
	<p>バス本体のみため…坂上方面へのバスをみると、利用者の多い、少ないの差はあるのかもしれないが、東地区を走るバスは、少し悲しすぎるのではないか…。同じ条件のもとに(料金を払って使用する)乗せていただくので今少し考えたバスを走らせていただきたいです。</p>
	<p>バスの色を目立つ色(黄色、赤色など) 買い物、温泉ツアー</p>
	<p>免許返納のことを考えて、路線バスの運行は続けてほしい。</p>
ライドシェアの推進	<p>「ライドシェア」を役場主体で登録、管理していただきたい。シルバー人材の一部に送迎の部門を設ける。</p>
	<p>家の近くで顔見知りの方に病院など緊急時にお世話になれるようにちらしでお願いしてもらいたい。</p>
	<p>隣近所での車の(ドライブシェア?)同乗が気軽に出来ればよいと思います。</p>
	<p>ご近所の方に送迎をお願いしても気兼ねがいらぬようなシステム(タクシー感覚でお願いできる)</p>
	<p>自動車運転あまり好きでない。自分以外に行く人間がなくしかたなし。一番心配なのは犬の病院へ連れて行く者がいないため自分が行くしかなく運転するしかないのでしょうか。なんかいい方法はないのでしょうか。逆に教えてください。各部落に常に連絡をすれば運転してくれる人を決めてくれたら助かるのでは。</p>
	<p>ライドシェアの方法としてシルバーセンターを活用したらどうでしょうか。同意したシルバーさんを登録し、利用者はシルバーセンターに利用区間と送迎時間を連絡し自宅まで送迎してもらおう。利用者(高齢者)は自宅からバス停まで行くことがかなり困難と思われ、また買い物をした荷物を持って帰りのバス停まで行くことも大変なことと思います。料金は役場発行の回数券とし Km 数で料金設定するが補助金を準備するシルバーセンターの仕事が増え、高齢者も助かり役場もバス購入などの大きな出費が抑えられる。但し、シルバーさんは年二回安全運転講習を受け、適正チェックを行う。車には自動車誤発進防止装置と全方位カメラ付きのものとし、上限付きで役場負担とする。</p>

ライドシェアの推進	簡単に利用できる個人タクシーがあると嬉しい。
	吾妻町もシェアタクシーみたいなものを作ってもいいと思う。食は商工会が頑張っていますよね！
身体が不自由になるとタクシーが必要	高齢で足腰が弱くなり停留所まで行くのは無理である。路線バス、デマンドバスを廃止し、タクシーを利用する。金額は路線バス並みに設定してその差額は町が負担する。利用する場合は町に連絡をして町からタクシー会社に依頼する。現在の路線バス等の運行形態は不要になるのではないか。客のいないバスが毎日走っています。
	バスを使って病院や銀行に出かけられる期間は短いと思います。タクシーなら体が不自由になった時にも使えるかなと思います。
	発熱とか体調不良等その日車が必要な時、バスでは1日何本もないので、高齢者にタクシーの割引券とか何千円かの商品券の発行があると、バス以外でも利用できるかな。
	タクシー券を毎月5枚くらい配布
鉄道利用を推進	JR 駅の無料駐車場の拡充
	電車が1時間に1本、大変困ります。
福祉有償運送の推進	「空青くして水清くして過疎となり」と誰かが詠んだとかすかに覚えている。東吾妻も同じような感じになっている。高齢化はもう止められない（全員毎年年齢を重ねるから。）公共交通を考えるとしても、経済性を全く無視することは難しい。「福祉有償運送」（昨今のライドシェアも考えて）をつき進めていくしかないのではないか。若い人がいない（伴い子供もいない）高齢世帯の20××（ほぼ2人暮らし）。相方がいなくなれば当然独りぼっち。心身の健康も危惧される。（行動しなくなる恐れ）視点を変えて今住んでいるところを離れて多数が居住する新しいコミュニティーを作る（新しい街を作る）ということでもしない限り、根本的な交通問題は解決しないと思う。誰も故郷を失うのは「絶対反対」が多く出ると思うので実現不可だが。
シニアカーなどの利用環境の確保	現状の公共交通では将来頼れない。別の形態が必要。自動運転の実用化ができるまで待てない。免許証の返納については公共交通が十分にある都会なら可能でも過疎地域では無理です。運転できる車（さぼカー）等区域を制限する限定免許の導入が必要。
	・個人用の電動車で郷原から原町に行ける方法は？岩島地区は歩道も広く整備されているので電動車遠くまで移動できる ・原町までの国道が険しい ・真田道や等高線を使い新しい遊歩道を作り観光もかねて整備すれば岩島地区と一体化が図れて、ポテンシャルの多様化も図れる
	個人的には、免許返納後は、シニアカーの利用をかんがえています。時間の制約がな…。自由に行動できるように。
移動販売車による買い物	移動スーパーを週一くらいでできれば。女性は年を重ねても買い物をしたい。
	商工会の注文もとてもよいのですが、アゲものが出来ないようです。年寄りや、家では危険なので、1ヶ月に一回でいいので車の売買もしてもらえればありがたいと思います。損得を考えれば、できないことですが女性の買い物は心の健康にいいと聞きますね。
駅などの乗継拠点の駐車場	乗り継ぎ地点(駅)に、事前予約なしで200円駐車場とかほしい。未使用なのに、月決めて駐車が他人はできない。

<p>家族に送迎してもらおう</p>	<p>20代から車が大好きで、大型四輪、小型二輪など、無事故で70近く乗っておりました。90さいまでに返納してからはもう92歳にもなったので足（膝も悪くなり、家族とも話して皆様に迷惑が掛からないよう、また危ないので、公共交通機関は使わずに買い物でもどこでも行きたいところへは車で家族が送り迎えしています。ですから、公共交通は一切使っていません。たしかに父の言う通り、バスや電車などで足などけがしてもご迷惑をかけてしまいますので。そのため、意見を出すことができません。字も躍って読みにくくなってしまったので父の話の聞き代筆いたしました。若い方たちはいいアイデアがたくさんあると思いますので、ぜひお願いいたします。以上、代筆まで。</p>
<p>自転車専用レーンの設置</p>	<p>歩行者向けの自転車専用レーンを整備する。</p>
<p>高齢者、障害がある人などの移動を確保</p>	<p>高校生の時から具合悪いのですが30歳のころ起きてられない症状があり、ほとんど寝ていて、軽くなったことはあるが治ったことはなく今も車の助手席でシートを倒して横になっています。座っていられたら、バスや電車で行きたいと思っていました。ですから私はいまだにバスや電車に乗れません。もしボランティアの人やタクシーがなくなったら病院にも出かけられません。</p> <p>高齢化社会が進む折からきめ細やかな公共交通施策は重要度を増しており早急な対応を希望します。</p> <p>高齢者、障がい者対策の一環としてのご検討をお願いします。</p> <p>これから高齢になり、免許返納後が不安。生活するうえで最低限の行動を取らなければならない際も不安で、定額で小回りが利く高齢者の足となってもらえる方法、足腰が悪くなくても利用できる車何かいい方向へお世話になります。よろしく願いいたします。</p> <p>これから夫が免許を返納した場合を考えると、町外に出かける場合とても移動が大変みたいです。タクシーを使わないといけない病院があったり、スーパーがあったりして夫も返納が難しいと言っています。知人も現在、通院がとても大変で、一人では行けず、タクシーで行っているみたいです。6千円以上かかるみたいです。バスに乗る事も出来ない。中之条へのアクセスも考えてください。そうでなければ、返納は難しいです。</p> <p>まだ先の話のように思いますが、いざ自分が運転できなくなり、移動手段としてバスを利用すると思いますが、少しでも、使い易いバスの運行を心がけていただければありがたいと思います。</p>
<p>高齢者、障害がある人などの移動を確保</p>	<p>将来、車の運転ができなくなった時に、公共交通は頼りになると思われるので、ルート、運行時間等、整備し本数等はその時代の状況によって増減することで予算、費用等調整を図ってもらえたらと考えます。</p>
<p>公共交通全般</p>	<p>地域の暮らしを支える公共交通の事業を推進してほしい</p>
<p>公共交通全般</p>	<p>東吾妻町に限らず、公共交通は乗客の減少→減便の繰り返しになって居るので、これから増えるであろう免許返納者や免許を持たない世代が利用しやすいダイヤにするのが基本とおもいます。列車、ほかのバス路線への乗り継ぎ、休日の運行、増便によりあてになる交通機関になれば乗客は増えると思います</p>

公共交通全般	東吾妻町の公共交通は 95.6%の人は利用せず、わずか 4.4%(550人)の人が利用しています。このうち週5回以上使う人は0.4%で約50人です。これは、高校生の利用が主かと想定できます。その他の利用者として週1～2回が0.4%で(50人)で月に1～2回が0.9%(約110人)でこれらの人たちは高齢者の買い物または病院への通院等が想定されます。年に数回が2.7%(330人)で利用者の大部分を占めているのが現状です。乗合バスの1台当たり平均乗車率は約1人です。9人乗りのバスを運行していますが、過大のように感じます。5人乗りのタクシー等でも十分かとおもいます。乗合バスを利用しない理由として「行きたい目的地までのバスがない」「利用したい時間帯にバスがない」「自宅からバス停までが遠い」等があげられていますがタクシー利用に切り替えることによって、これらの問題はすべて解決されます。埼玉県鳩山町では、若い町長さんの英断により一般の人は一乗車あたり800円、高齢者等交通弱者は200円で町内であればタクシーが利用できるようになったそうです。わが町にもぜひ、鳩山町の様に住民が本当に望む制度への切り替えをぜひお願いします。
話し合いや意見を聴くことが必要	話し合いでその都度決めていくしかないと思います。 車いす使用者の意見を聞いてもらいたい。 今困っている高齢者からアンケートを取る。 役場の職員が公共交通を担う。
その他の対策	町民の利便性を考えていただくことは大変ありがたいことだと思います。私の所から車の燃料を買いに行くのに郷原迄11kmあり倉渕へも11kmある。食料品を買いに行くのに原町へ16kmあり、時間にして往復で1時間以上かかります。そこで提案させていただきます。せめて車で5分くらいの所にガソリンスタンドや食料品などの生活用品がそろうところがあればと考えます。行政の目的は、遠い近いにかかわらずみんなが等しく行政の恩恵を受けられることを提案させていただきます。よろしく願いいたします。 全国的に高齢者が増加しているの、全国の市町村で同じような取り組みをしていると思われる。できれば同様事業でうまくいっている自治体を参考にしてみてはどうかと思う。 予算の使い方を工夫してほしい、国にお願いしては？ すべての原因として少子化があると考えます。厳しいと思いますが、早急にプロジェクトチームを立ち上げ、1年をめどに結論を出したらどうかを提案したい 問四にチェックをしました。内容と同じく情報を得る手段が少ないと感じています。高齢とともに視覚、聴覚の低下とともに「従来型」回覧板等の活字「大きく」「読み仮名」(※必要と思われる内容でいいとは思いますが…) 独居、高齢世帯対応の工夫も必要なのかと考えています。
免許返納後が不安	免許があり自由に動けません 5, 10年後を考えると公共交通は必要だと思います。 免許返納のことを考えたら心配です。町で公共交通をより便利にお考えいただくことは大変ありがたいと思っています。よろしく願いいたします。 今現在は不便はないのですが何年か後実際に車がなくなったらと思うと不安です。現在歩いて行ける場所でもクマ出没やらで安心して歩けない昨今です。ますます不安です。自分の足で歩いて暮らしたいのですがそれも元気でいればの話です。

免許返納後が不安	今のところ自分で運転しているのでできなくなったら不安だろうなと時々心配になる。
	現在 75 才ですが、80 才になったら免許を返納しようと考えているので、その時は原町、中之条へ行くのにもすべてバスを利用しようと思っているのでもう少し使い易くしてほしい。
	現在は特にありません。将来的にはいろいろと考えることがあると思います。年を取れば歩くことが困難になる時が来る。その時はきっと真剣に公共交通を利用すると思いますので是非充実した公共交通をお願いしたいと思います。
	現在利用はしていませんが近い将来利用するかもと思うと不安はあります。
	今のところバスは利用していませんが、将来運転をしなくなった場合停留所が近くにないので、どうしていいかわからない。
	今のところ運転しているが、できなくなったらとても心配
	最近免許を返納した人の話を聞くと車がなければどこにも行けず、子供の土日めがけて連れて行ってもらう。本当に車がないと不便であることのこと、今まで自由に行動していたので、車のありがたみがわかるという。免許を返納した場合は、慣れるまで大変だと思った。事故を起こさないように注意して返納するまで無事故、無違反でガンバります。
	将来的に免許返納を考えていますが、交通利便性がきめ細やかでなくバス停が遠いなどさまざまな、こんな田舎の地で免許返納は簡単ではないのです。どうしたらいいのでしょうか。
よくわからない	今は必要としてないので特にない
	ただ今のところバスを使う必要がありません。
	大字原地区にはバスがないのでわかりません。
	引っ越しが三か月前なので環境が良く理解できていないのであまりよくわかりません！
	高齢者ですが、まだ自由に動き回りたいと思っているし、今の状況では公共交通は自分に合っていません。もう少し、高齢にならないと現実的に考えられないのが現状です。
	今のところ自分で運転するのであまりよくわかりません。
今は問題ない	今の交通方法で大丈夫だと思います。いつバスを利用するかわからないから。
	日頃、公共交通機関等を全く利用しないので、アイデア等はありません。
その他	皆様元気で頑張りましょう。
	よく運営していると思います。
	脳血管障害により片麻痺となりその後認知症も発言し代理でこたえられるところのみ記載しました。

III. 高齢者外出率の算出結果

令和3年度に策定した東吾妻町地域公共交通計画では、高齢者に利用しやすい公共交通を実現し、高齢者が外出する回数を増やすことを目標として設定している。この達成度を評価する数値目標として、「運転免許非保有者の高齢者外出率(%)」を設定し、計画中期(令和5年度)及び終期(令和8年度)において、高齢者を対象としたアンケート調査により外出率を算出することとしている。

これを受け、今回のアンケート調査により、令和5年10月25日(水)、10月29日(日)を調査日として、高齢者の外出状況を尋ね、その結果より算出した外出率を以下に示す。

表 運転免許非保有者の高齢者外出率の算出結果

指標		H27 (現状)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
運転免許非保有者の 高齢者外出率 (%)	目標値	-	-	-	60.0	-	-	70.0
	現状	55.9 ^{※1}	-	-	58.0 ^{※2}	-	-	-

※1 平成27年パーソントリップ調査結果

※2 令和5年アンケート調査結果

令和5年度時点の目標値60.0%に対し、58.0%とわずかに及ばない結果となったが、平成27年度時点の現状値55.9%に比べると外出率は向上している。

【参考】

外出率の目標値60.0%はトリップ単位の値であるため、複数回トリップしている場合、外出率算出の母数は総トリップとなる。本アンケート調査では、回答者の負担を下げするため調査日における外出の有無のみを尋ねており、母数は回答者数となる。そのため、一人が一日にトリップしている回数が平成27年パーソントリップ調査と同水準と仮定してトリップ単位の換算した外出率を算出している。

指標	単位	平日・休日	目標値			
			H27 (PT実績)	R5		R8 (計画)
				目標値	アンケート結果	
運転免許非保有者の高齢者 外出率(%)	トリップ単位	全日	55.9%	60.0%	58.0%	70.0%
	人単位	全日	31.5%	33.8%	32.7%	39.5%
		平日	34.1%	36.4%	36.2%	45.3%
		休日	26.0%	27.7%	29.1%	34.5%

注1：H27 パーソントリップ調査によるトリップ単位と人単位の外出率の比が一定と仮定し、各年の人単位の目標値を算出した。

注2：H27 パーソントリップ調査と本アンケート調査では平日、休日の回答数の比率が異なることに留意する必要がある。また、H27 パーソントリップ調査の「全日」には平日、休日不明の回答を含んでいる。

IV. アンケート結果からみえる公共交通に対するニーズ

今回のアンケート結果から、東吾妻町の65歳以上の高齢者の公共交通に対するニーズとその背景については、以下のように推察される。

高齢者による悲惨な事故が社会問題となっているなか、現在は運転していても、いずれ免許の返納が必要と考える高齢者は多い。家族の送迎を期待できる場合は免許を返納できるが、気軽に送迎を頼める人がいない場合は、公共交通、有償福祉運送サービスに頼ることになる。そのため、免許返納後の移動手段として公共交通、有償福祉運送サービスに対する一定のニーズはある。

しかし、歩行が困難な高齢者は、最寄りのバス停まで歩くことが困難なため、バスを利用することができない。そのため、なかなか免許の返納に踏み切れないでいる。免許返納を促進するためには、自宅まで迎えに来て、目的地まで送ってくれる移動サービスが必要となる。

既に、坂上地区においてデマンドバスが運行しているが、その利用が少ないのは、乗降ポイントと自宅までの歩行が困難であることが大きな要因と考えられる。そのため、バス停までの歩行が困難な高齢者に対してはタクシー（乗合含む）、有償福祉運送サービスの提供が適していると考えられる。

歩行がさほど困難でない高齢者については、自宅近くで乗降できるなどのニーズに応えることにより、バス利用を促進することが期待できる。また、一人暮らしなど家族の送迎が期待できない高齢者にとっては、気兼ねなく利用できるライドシェアなどの送迎サービスや、自宅近くでの移動販売、自由に移動できるシニアカーのニーズがある。

そのほか、公共交通などの利用促進のためには、バス、有償福祉運送サービスなどの利用方法に関する情報提供が欠かせない。これらの公共交通などに関する知識がないために、利用していないことも考えられる。

以上、歩行に課題を抱える高齢者のニーズに合った移動サービスの提供が免許返納の促進及び外出率の向上には欠かせない。

表 公共交通に対するニーズ

ターゲット	路線バス	デマンドバス	タクシー	有償福祉運送	病院・施設の送迎	ライドシェア	移動販売	シニアカー	主な移動ニーズ (免許返納後)
歩行が困難な 高齢者	×	△	○	○	△	△	△	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅、目的地近くでの乗降 ・ 病院、買物場所、鉄道駅へのアクセス ・ 希望する利用時間にあった運行（本数の増加、地区ごとに曜日、時間帯を決めて運行など）
歩行が可能な 高齢者	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区間均一料金など、利用しやすい運賃 ・ 車輦のバリアフリー化 ・ 家族以外で気軽に送迎を頼める仕組み ・ シニアカーを安心して利用できる道路環境 ・ 移動販売による買い物支援

○：ニーズに合う

△：自宅、目的地近くでのサービス提供の場合はニーズに合う

×：ニーズに合わない

V. 調査票

東吾妻町 公共交通に関する町民アンケートへのご協力をお願いいたします



日頃より町民の皆様には、町政へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

町では現在、令和4年に策定しました「東吾妻町地域公共交通計画」の基本理念である「多世代をつなぎ、地域の暮らしを支える公共交通」の実現に向けた事業を推進しているところです。

そこでこのたび、町民の皆様、特に高齢者の皆様の外出、公共交通利用状況や、公共交通に対するご意見を頂戴したく、アンケート調査を実施させていただきます。

なお、本アンケートは東吾妻町内の5地区それぞれ200名ずつ、合計で1000名を無作為に選ばせていただいております。ご回答は無記名であり、回答結果は本調査目的以外には使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートの主旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年10月

東吾妻町地域公共交通活性化協議会
（事務局：東吾妻町役場 企画課）

《ご記入にあたってのお願い》

- 1 回答は、封筒のあて名のご本人がご記入ください。
なお、ご高齢などで記入が困難な場合は、ご家族や知人の方等が、ご本人に回答を確認いただき代筆くださいますようお願いいたします。
- 2 ご記入にあたっては、質問ごとに、あてはまる番号や項目を選び、○で囲んでください。
- 3 ご記入いただいた調査票は、**11月13日（月）**までに同封の返信用封筒に入れ、**切手を貼らずに郵便ポスト**にご投函ください。

【問合せ先】ご不明な点は、お手数ですが下記までお問い合わせください。
東吾妻町地域公共交通活性化協議会
事務局：東吾妻町役場 企画課 企画調整係
電話：0279-68-2111（内線 2233） FAX：0279-68-4900（代表）
E-mail：ki-chousei@town.higashiagatsuma.gunma.jp

公共交通に関する町民アンケートにご協力ください

問 1. あなたのことを教えてください

以下の設問について、**あてはまるものを○印で囲む、または回答欄にご記入**ください。

性別	1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない
年齢	1. 65～69 歳 2. 70～74 歳 3. 75～79 歳 4. 80～84 歳 5. 85 歳以上
ご職業	1. 会社員 2. 公務員 3. 団体職員 4. 自営業 5. 主婦・主夫 6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他 ()
家族構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯 (子と同居) 4. 二世帯 (親と同居) 5. 三世帯 6. その他 ()
お住まいの 地区	1. 五町田 2. 箱島 3. 岡崎 4. 新巻 5. 奥田 6. 岩井 7. 植栗 8. 小泉 9. 泉沢 10. 原町 11. 川戸 12. 金井 13. 郷原 14. 矢倉 15. 岩下 16. 松谷 17. 三島 18. 厚田 19. 大戸 20. 萩生 21. 本宿 22. 須賀尾 23. 大柏木
普通自動車 運転免許の 有無	1. 保有している 2. 既に返納 (または失効) した 3. 保有したことがない 上の設問で「1. 保有している」と答えた方にお尋ねします。将来的に自動車運転免許を返納したいと思いますか。 1. 返納するつもりはない 2. 5年以内には返納する予定 3. 6年以上先に返納する予定
自動車の 運転状況	普通免許をお持ちの方 にお聞きします。 この一年間 で、 自動車を運転 しましたか？ 1. 運転した 2. 運転しなかった 上の設問で「2. 運転しなかった」と答えた方にお尋ねします。普段の生活で、自動車が 必要 になったとき、 送迎をしてくれる人 はいますか。 1. 送迎してくれる人がいる (家族や親せきによる送迎が多い) 2. 送迎してくれる人がいる (近所の人や友人による送迎が多い) 3. 送迎してくれる人がいる (福祉有償運送など福祉サービスを利用している) 4. 送迎してくれる人がいない

問2. 日常生活について教えてください

10月25日(水)と10月29日(日)の外出状況について、有り、無しの当てはまる方に○をつけてください。また、外出した場合はその目的、移動手段について、当てはまる番号に○印をつけてください。(田畑の作業や、家周辺の掃除等は除いてください)

対象日	外出の有無	主な外出目的	主な移動手段
10月25日 (水)	有り 無し	1. 買物 2. 通院 3. 通勤 4. 食事・社交・趣味 5. 観光・行楽・レジャー 6. 家族の送り迎え 7. その他 ()	1. 徒歩 2. 自転車 3. タクシー 4. バス 5. 鉄道 6. バイク 7. 自家用車(自分で運転) 8. 自家用車(家族が運転) 9. その他 ()
10月29日 (日)	有り 無し	1. 買物 2. 通院 3. 通勤 4. 食事・社交・趣味 5. 観光・行楽・レジャー 6. 家族の送り迎え 7. その他 ()	1. 徒歩 2. 自転車 3. タクシー 4. バス 5. 鉄道 6. バイク 7. 自家用車(自分で運転) 8. 自家用車(家族が運転) 9. その他 ()

問3. 公共交通の利用状況について教えてください

【問3-1】あなたは、路線バスをどの程度利用されていますか。当てはまる番号に○印をつけてください。

路線バスを利用する頻度		
1. 週に5日以上	2. 週に3~4日以上	3. 週に1~2日程度
4. 月に1、2回程度	5. 年に数回程度	6. まったく利用しない

【問3-2】新型コロナウイルス感染症拡大以前と以降を比較して、外出する頻度や自家用車を利用する(または送迎してもらう)頻度は変わりましたか。当てはまる番号に○印をつけてください。

外出の頻度			自動車利用(または送迎)の頻度		
1. 減った	2. 増えた	3. 変化なし	1. 減った	2. 増えた	3. 変化なし

【問3-3】あなたは路線バスについて、以下の項目をご存知ですか。1(知っている)または2(知らない)の当てはまる番号に○印をつけてください。

項目	知っている	知らない	項目	知っている	知らない
最寄りバス停の場所	1	2	バスの利用方法	1	2
運行経路・時刻表の調べ方	1	2	バスの運賃	1	2

【問3-4】あなたは、以下の移送サービスを知っていますか。また、利用したことはありますか。当てはまる番号に○印をつけてください。

	福祉有償運送	デマンドバス
概要	事前審査を受けた高齢者、障害者が買い物や通院などで外出する際に、有償で利用できるNPO法人や社会福祉法人等が運営する移送サービス（審査を受けて利用できる）	電話で乗りたいバス停、行き先、乗車時間を伝えて予約し、区間均一運賃で乗車するバス（坂上地区等で運行）
認知度	1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない
利用経験	1. 利用したことがある 2. 利用したことはない	1. 利用したことがある 2. 利用したことはない
利用意向	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない 3. わからない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない 3. わからない

問4. 高齢者の方も利用しやすい公共交通の実現に向けてお尋ねします。

【問4-1】バスをより使いやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたが特に効果的だと思う取り組みに当てはまるものに○印をつけてください（最大2つまで）。

バスの利便性を高めるための取組について	
1. 路線バスの経路を大幅に見直す	2. 事前予約制のデマンドバスを導入する
3. バス停留所をきめ細かく設置する	4. バスの運行本数を増やす
5. バス待ち環境を改善する	6. 目的地までの所要時間を短縮する
7. 駅や主要バス停での乗換えを円滑にする	8. バス停や駅の情報案内を分かりやすくする
9. 時刻表通りに運行する	10. 時刻表・運行ルートをPRする
11. バス停・鉄道駅周辺をバリアフリー化する	12. バスの乗り方を教えるイベントを開催する
13. その他（	）

【問4-2】どのようなところに、バスを使って行きたいと思いますか。当てはまるものに○印をつけてください（最大2つまで）。

バスを使って行きたい場所について	
1. 鉄道駅（乗り継ぎのため）	2. 主要なバス停（他のバス路線に乗り継ぐため）
3. 役場・支所・出張所	4. 公民館・集会所
5. 病院・診療所	6. 福祉施設
7. スーパーなど買物をする店舗	8. 飲食店
9. 入浴施設	10. スポーツ施設
11. 銀行・郵便局	12. 仕事場
13. その他（ ）	

問5. 自由意見

今後、東吾妻町の公共交通の利便性を高めるにあたって、あなたのお考えやアイデア等をご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力をいただき誠に有難うございました。

ご回答いただいたアンケートは
同封した返信用封筒に入れて切手を貼らずに
令和5年11月13日までにご投函ください